

平成20年度 尾張旭市営バス利用状況報告書



平成21年7月
都市整備部都市計画課

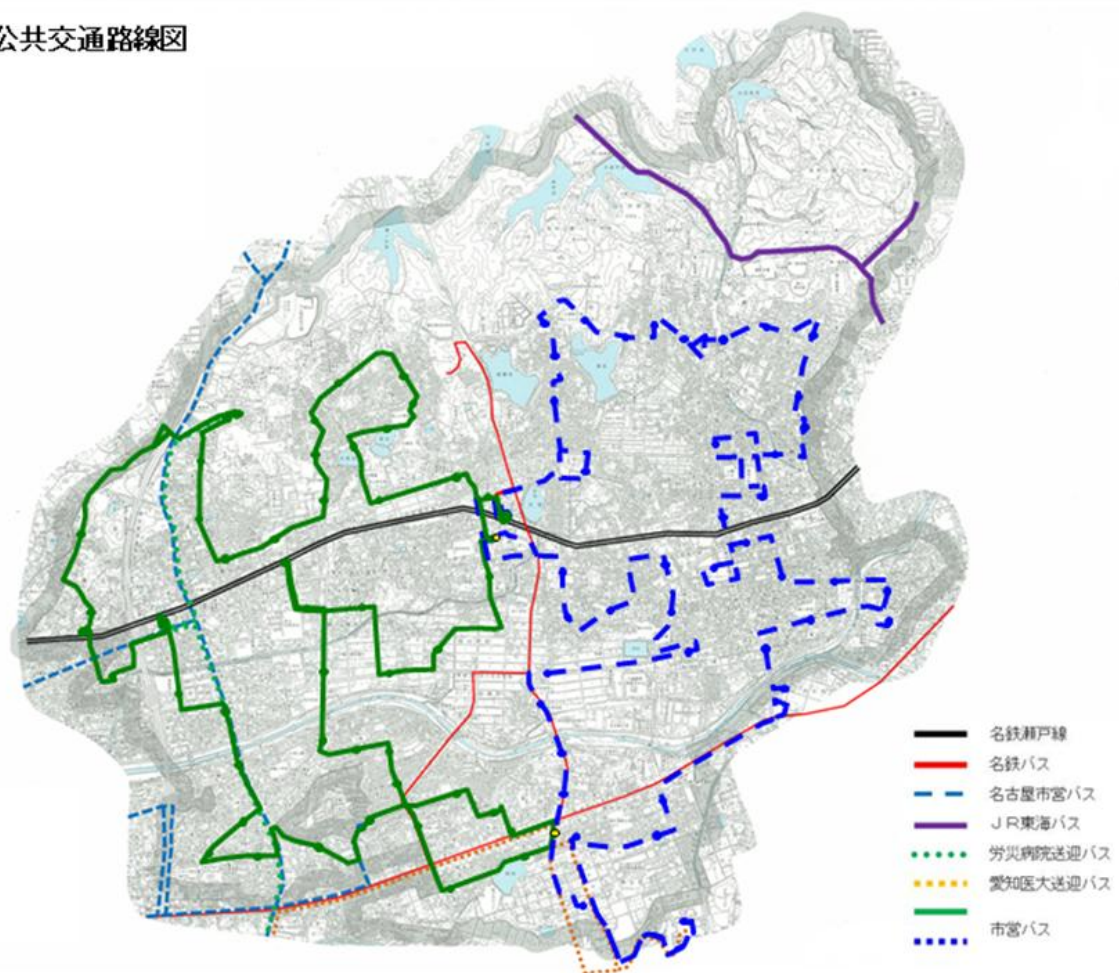
目 次

1	市営バスの概要	1
2	市営バス運行の経緯	2
(1)	試験運行開始前	2
(2)	試験運行の実施	2
(3)	本格運行の実施	3
(4)	利用者数の推移	3
3	市営バスの利用状況	4
(1)	ルート別利用者数の状況	4
(2)	運行便別利用者数の状況（全体）	5
(3)	運行便別利用者数の状況（ルート別）	6
(4)	停留所別利用者数の状況	9
(5)	ルート別の停留所利用の状況	14
(6)	ルート別の停留所利用の状況	18
4	市営バスの運行経費の状況	19
(1)	市営バスの運行経費の状況	19
(2)	近隣市町のコミュニティバス運行経費との比較	20
5	市営バス運行に対する市民意識	22
(1)	まちづくりアンケートの結果	22
6	市営バスに関する課題	29

1 市営バスの概要

- 本市の市営バスは、平成20年4月1日から、4ルート（西、南西、東及び南ルート）の「シャトル方式」で本格運行を開始しました。そして、同年10月1日から、西ルートと南西ルートを統合した「西ルート」、東ルートと南ルートを統合した「東ルート」の2ルートに再編し、それぞれ「右回り」及び「左回り」の「双方向ループ方式」による運行に変更しました。
- このため、本報告書は、2ルート「双方向ループ方式」に再編後の、平成20年10月1日（水）から平成21年3月31日（火）までの、6か月間の東ルート（マイクロバス2台 定員27人）及び西ルート（マイクロバス2台 定員23人）の利用者数を集計したものです。
- 利用料金は、1回100円で、小学校未就学児並びに障がい者（児）本人及びその付添い人1人は無料としています。
- 運行日は、平日及び土曜日とし、日曜日、祝日（振替含む）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）は運休としています。また、運行時間は8時20分から17時30分までとし、1日7便を運行しています。
- 運行距離は、西ルートが23.1km、東ルートが24.2kmとしています。

■ 公共交通路線図



2 市営バス運行の経緯

(1) 試験運行開始前

ア 平成15年度以前

- ▽ 平成10年度
市議会定例会において、多数の会派から巡回バスについて質問
- ▽ 平成11年度
巡回バス実現に係る18,000人余りの署名が、「だれでも乗れる市内巡回バスの早期実現と高齢者・障害者への交通助成費を求める陳情書」として提出
- ▽ 平成12年度
交通問題対策特別委員会の設置

イ 平成15年度

- ▽ 本市における生活交通のあり方を検討するものとして、学識経験者や市民の代表、公募委員からなる「尾張旭市交通問題対策協議会」を開催
- ▽ 協議会では、地域交通に係る勉強会や他自治体の事例の視察、公共交通移動実態調査の検証等を実施
- ▽ 協議会からの主な提言
 - ・市内には、公共交通に恵まれた地域もあるが、一方では移動に制約を受ける交通空白地もある。このため、まずは公共交通のサービス水準が相対的に低い地域を対象として、市による新たな交通手段の確保を図ること
 - ・可能な限り早期に、市による新たな交通手段を具体化するため、まずは試験運行の実現のための検討組織の設置や必要な予算措置などを行うことと合わせ、真に市民の利活用があるかデータを収集すること
 - ・新たな交通手段によるサービスの維持などは、市民の利用の状況に大きく左右されることであり、それを利用し、守り育てていくことは市民の責任でもあることを訴えること

ウ 平成16年度

- ▽ 提言に基づき、試験運行の仕組みを構築する組織として、「尾張旭市交通問題懇話会」を開催
- ▽ 懇話会では、平成15年度に行った公共交通移動実態調査の結果に基づき、ルート設定や使用車両の検討を実施。また、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏外を「市内の交通空白地」と定義し、その解消を目指すことを確認

(2) 試験運行の実施

ア 平成16年12月1日～平成17年7月31日

料金を1回100円として、9人乗りワゴン車3台で、西ルート、東ルート及び南ルートの3ルートの試験運行を開始。なお、満車時においては箱型タクシーにて対応。

その結果、南ルートの利用状況が少なく、更なる利用増進が課題となった。

イ 平成17年8月1日～平成18年8月6日

主に南ルートを増強し、愛知医大及び本地ヶ原住宅に停留所を設置。その結果、乗り継ぎ利用者の増加と、これに伴う積み残し対応タクシーの増加が発生。さらに、運行頻度の充実に対する要望や、未運行地域からの要望も増加。

ウ 平成18年8月7日～平成20年3月31日

ルートの見直しを行い、3ルートから4ルートに拡充（南西ルートを新たに増設）。

また、平成19年12月5日からは、西ルート、東ルートにマイクロバスを導入。これに合わせ、車両デザインを市民公募するとともに、愛称を「あさび一号」とした。なお、南ルート及び南西ルートについては、引き続き9人乗りワゴン車にて対応。

(3) 本格運行の実施

ア 平成20年4月1日～9月30日

指定管理者制度の導入により、本格運行を開始。併せてルートの見直しを実施するとともに、障がい者本人の運賃を無料化。

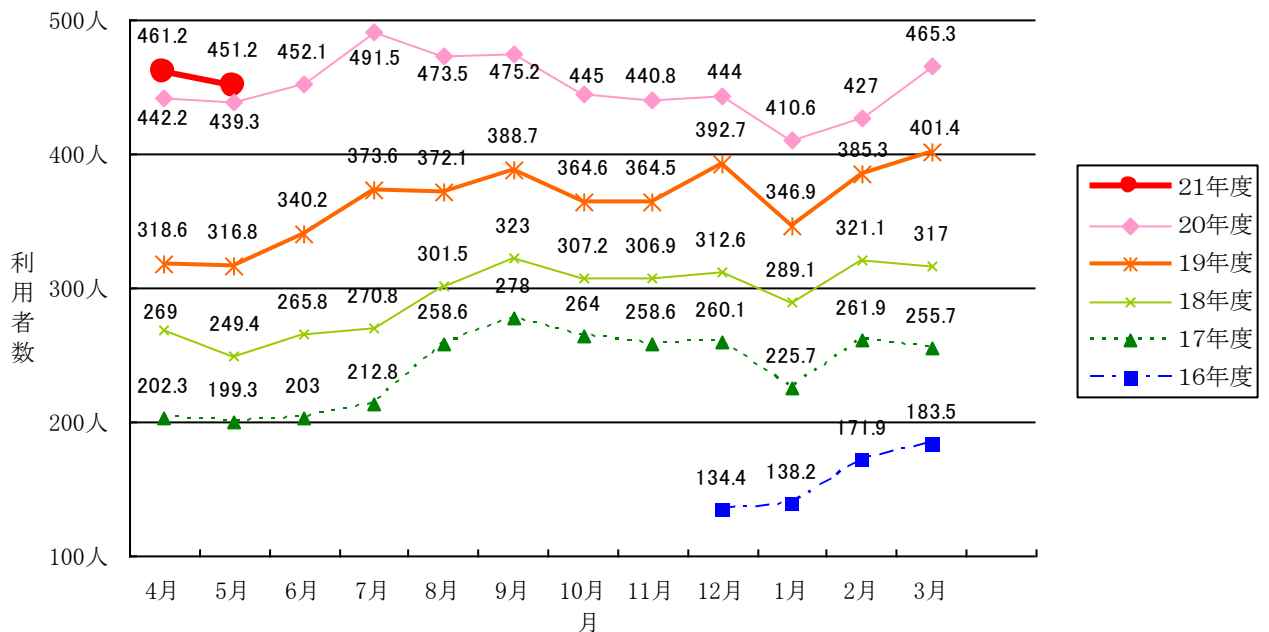
また、南ルート、南西ルートに指定管理者所有のマイクロバスを導入。

イ 平成20年10月1日～現在

西ルートと南西ルートを統合して「西ルート」、東ルートと南ルートを統合して「東ルート」とし、「シャトル方式」の運行を、2ルート4台の車両で運行する「双方向ループ方式」に変更。

また、平成20年11月27日からは、南ルートと南西ルートで使用していた指定管理者所有の車両を、市所有のマイクロバスに変更。その結果、4台全てが統一されたデザインの車両となった。

(4) 利用者数の推移（1日あたり平均利用者数）



- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート「双方向ループ方式」に変更して運行

3 市営バスの利用状況

(1) ルート別利用者数の状況

冬季（12～2月）の間は、気温等を要因とする自然減と思われる減少がありましたが、春季（3月）になり、増加傾向にあります。

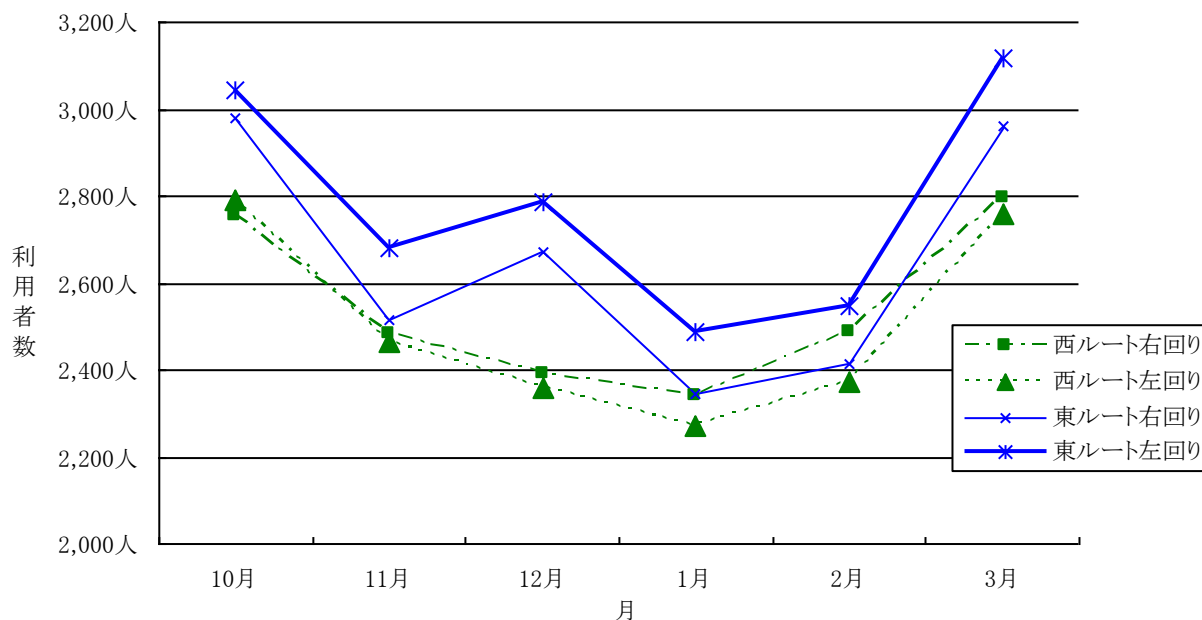
なお、西ルートでは12月の利用者数が減少したにもかかわらず、東ルートでは増加しています。これはクリスマス時期における団体利用が大きく影響しています。

○ 路線別利用者数

単位：人

月	西ルート			東ルート			合計
	右回り	左回り	小計	右回り	左回り	小計	
10月(26日)	2,755	2,792	5,547	2,978	3,045	6,023	11,570
11月(23日)	2,482	2,463	4,945	2,513	2,681	5,194	10,139
12月(23日)	2,392	2,360	4,752	2,671	2,788	5,459	10,211
1月(23日)	2,339	2,270	4,609	2,345	2,489	4,834	9,443
2月(23日)	2,486	2,374	4,860	2,413	2,547	4,960	9,820
3月(25日)	2,795	2,759	5,554	2,963	3,116	6,079	11,633
合計	15,249	15,018	30,267	15,883	16,666	32,549	62,816

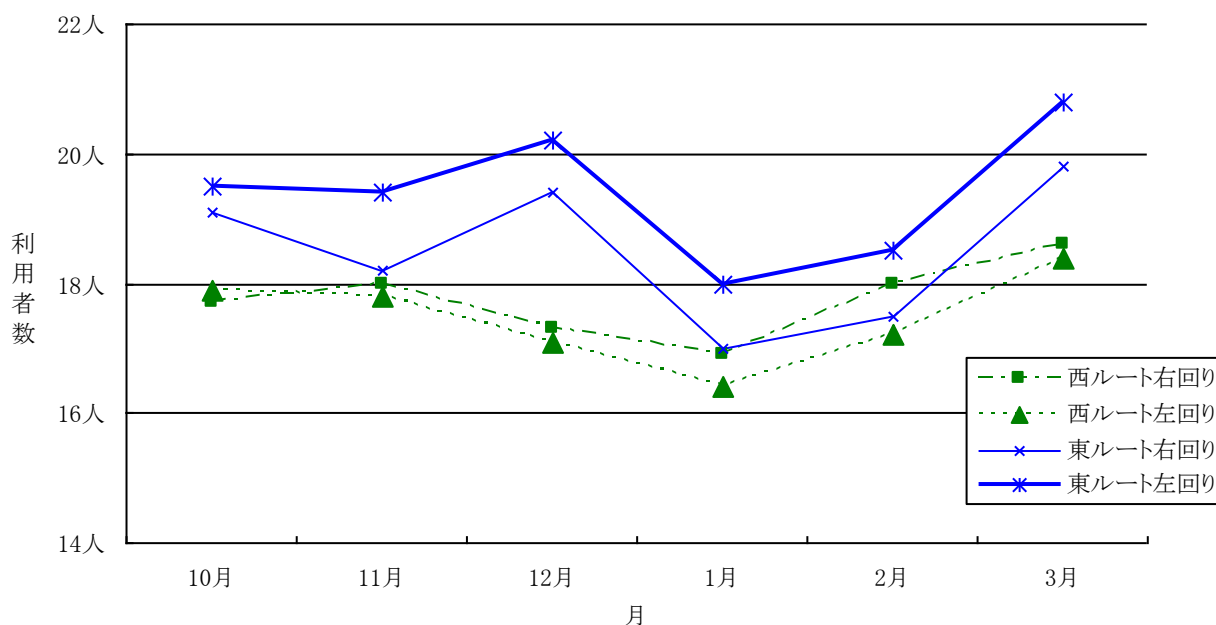
※（ ）内は運行日数



○ 1便当りの平均利用者数

単位：人

月	路線	西ルート		東ルート		全体
		右回り	左回り	右回り	左回り	
10月		17.7	17.9	19.1	19.5	18.5
11月		18.0	17.8	18.2	19.4	18.4
12月		17.3	17.1	19.4	20.2	18.5
1月		16.9	16.4	17.0	18.0	17.1
2月		18.0	17.2	17.5	18.5	17.8
3月		18.6	18.4	19.8	20.8	19.4



(2) 運行便別利用者数の状況（全体）

平成20年10月から平成21年3月までの間における西ルート及び東ルートの利用者数の運行便別の利用状況の割合は次のとおりとなりました。

なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、その利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

運行便	路線	西ルート		東ルート	
		右回り	左回り	右回り	左回り
第1便(8:20~9:07)		12.5%	7.6%	4.8%	9.2%
第2便(9:15~10:33)		20.3%	21.3%	21.6%	21.8%
第3便(10:45~12:03)		18.1%	17.2%	17.6%	21.1%
第4便(12:15~13:33)		16.4%	18.6%	20.7%	19.6%
第5便(13:45~15:03)		12.3%	14.8%	14.4%	15.1%
第6便(15:15~16:33)		14.4%	12.7%	13.4%	10.0%
第7便(16:45~17:30)		6.0%	7.7%	7.5%	3.1%

(3) 運行便別利用者数の状況（ルート別）

平成20年11月、平成21年1月及び3月における西ルート及び東ルートの1日当りの利用者数を運行便別にそれぞれグラフで示しました。

なお、第1便及び第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行であるため、利用者数は他の便に比較し、少ない状況にあります。

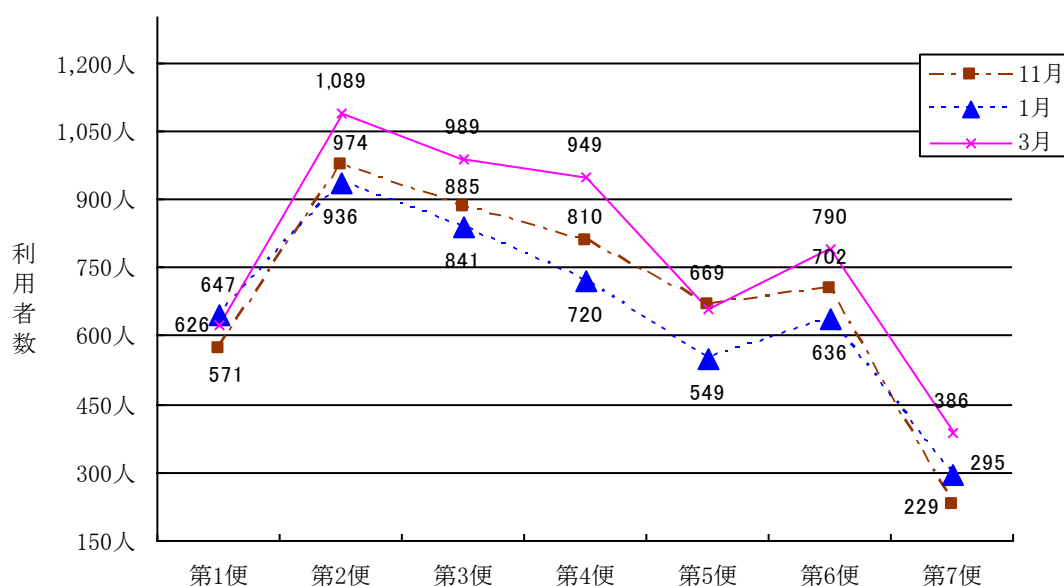
ア 西ルート（右回り）

西ルート（右回り）では、各月とも第2便（9：15～10：33）の利用者数が最も多く、その後、徐々に利用者数が減少する傾向にあります。

また、第5便（13：45～15：03）の利用者数が他便と比べ少なめとなっていますが、これは、病院の診療時間外の時間帯と重複することが、その要因の一つであると考えられます。

なお、第1便と第7便については、運行区間が一部のみであるため、他便と比べ利用者数が少ない状況にあります。この他にも、商業施設の開店時間や公共施設の閉館時間、病院の診察終了時間と重複することも影響しているものと考えられます。

○ 西ルート（右回り）運行便別利用者数



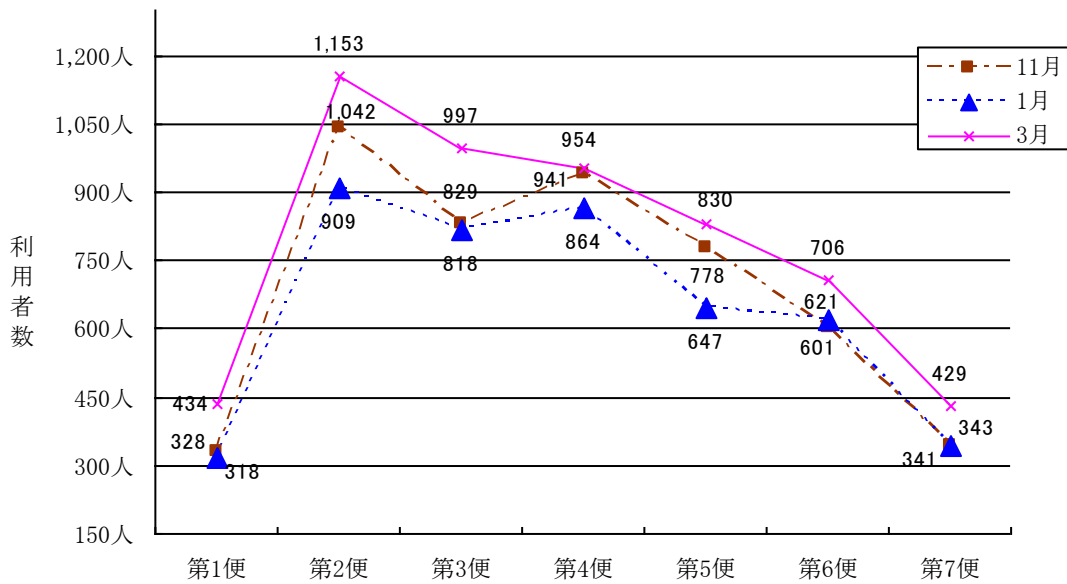
イ 西ルート（左回り）

西ルート（左回り）でも、第2便（9：15～10：33）の利用者数が最も多く、その後、徐々に利用者数が減少する傾向にあります。

また、「右回り」と比べ、第5便（13：45～15：03）の減少割合よりも、第3便（10：45～12：03）の減少割合のほうが高くなっています。

なお、全体的な利用者数は「右回り」を上回っており、利用者の居住地と目的地との距離関係などが影響していることが、その要因の一つであると考えられます。

○ 西ルート（左回り）運行便別利用者数

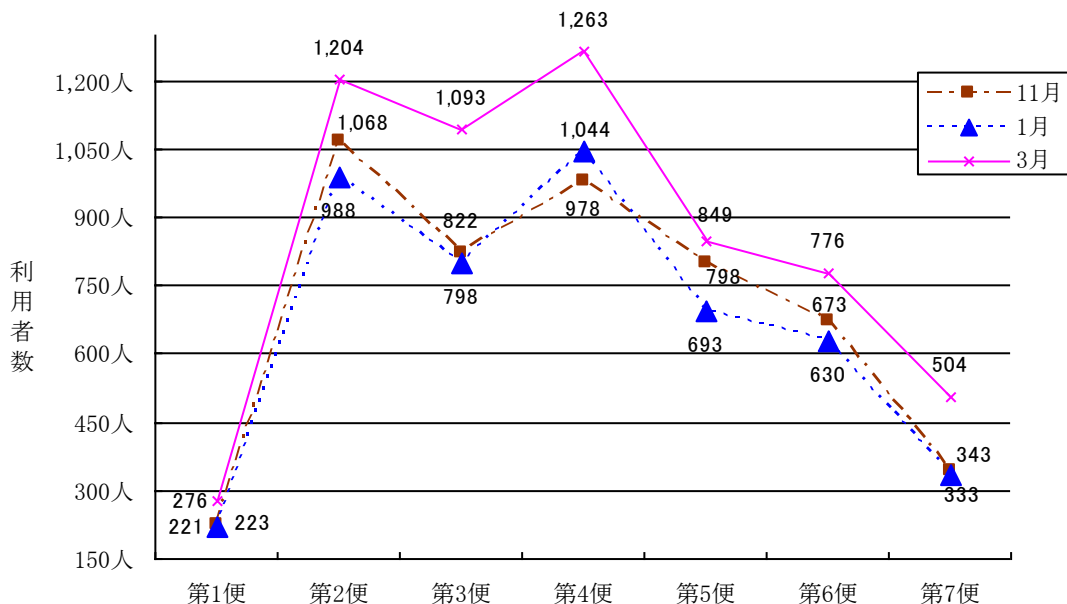


ウ 東ルート（右回り）

東ルート（右回り）では、第2便（9：15～10：33）の利用者数が多い点は「西ルート」と同様ですが、それよりも第4便（12：15～13：33）の利用者が多くなっている点が大きく異なっています。この第4便では「市役所」「愛知医大」での乗車数が多く、午前中の用事や診察を終えて乗車する方が多数あることがその要因の一つと考えられます。

なお、全体的な利用者数は「西ルート」を上回っています。

○ 東ルート（右回り）運行便別利用者数



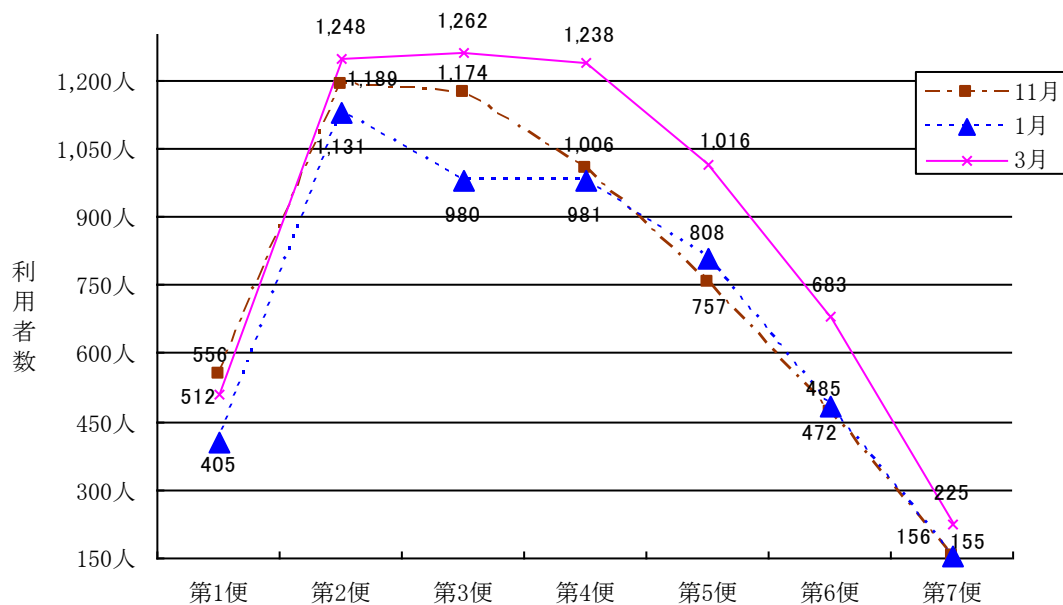
イ 東ルート（左回り）

東ルート（左回り）でも、「右回り」と同様、各月とも第2便（9：15～10：33）と第4便（12：15～13：33）が多くなっています。また、これに加え、第3便（10：45～12：03）の利用者数が多くなっています。この第3便では「市役所」「愛知医大」での乗車に加え、「三郷南」での乗車が多く、当停留所にある大型商業施設の利用者が多数あることが、その要因の一つであると考えられます。

第1便と第7便の利用者が減少する傾向は、これまでと同様ですが、第7便の減少数は、他のルートを大きく上回っています。

なお、全体的な利用者数は「右回り」を上回っており、利用者の居住地域と目的地との距離関係などが影響していることが、その要因の一つであると考えられます。

○ 東ルート（左回り）運行便別利用者数



(4) 停留所別利用者数の状況

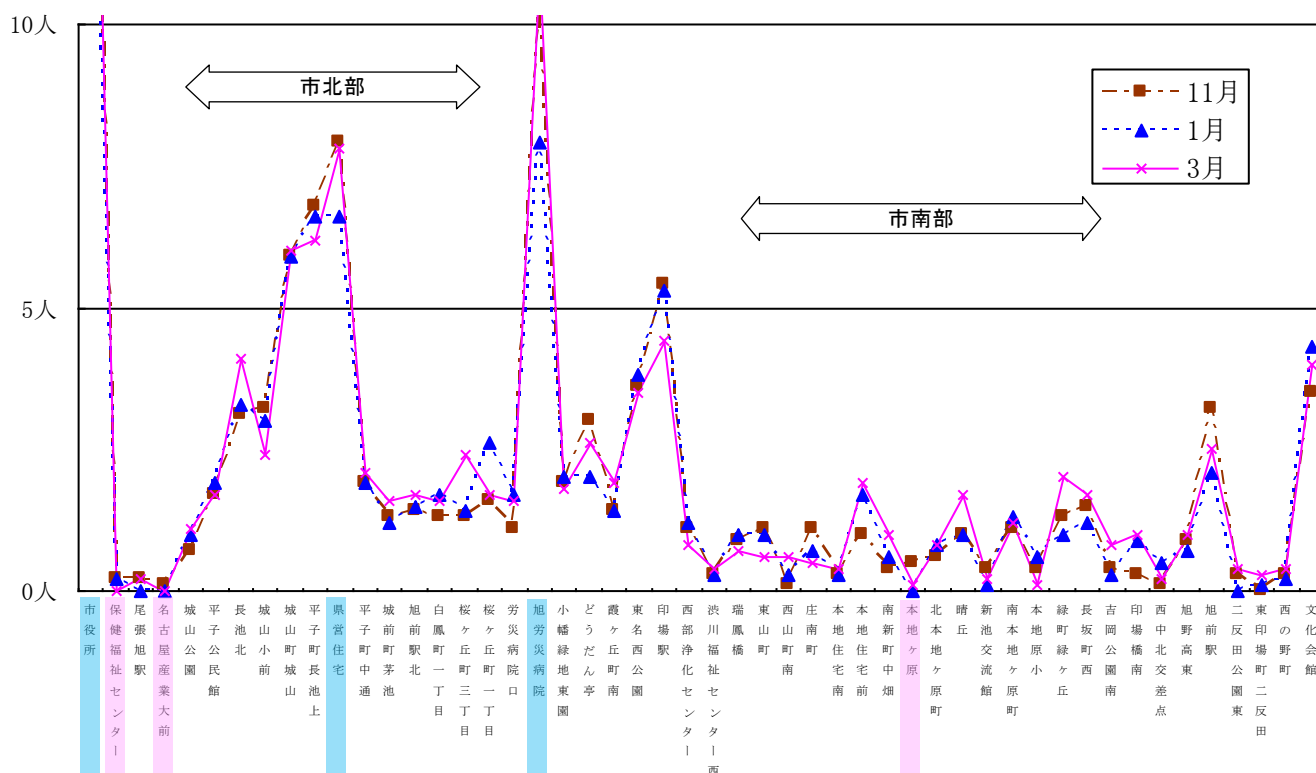
平成20年11月、平成21年1月及び3月における西ルート及び東ルートの1便当たりの利用者を、停留所別に乗車・降車に分けて集計し、それぞれグラフで示しました。

ア 西ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「市役所」「旭労災病院」「県営住宅」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所は、「保健福祉センター」「名古屋産業大前」「本地ヶ原」となっており、特に市南部での利用数が少ない傾向にあります。

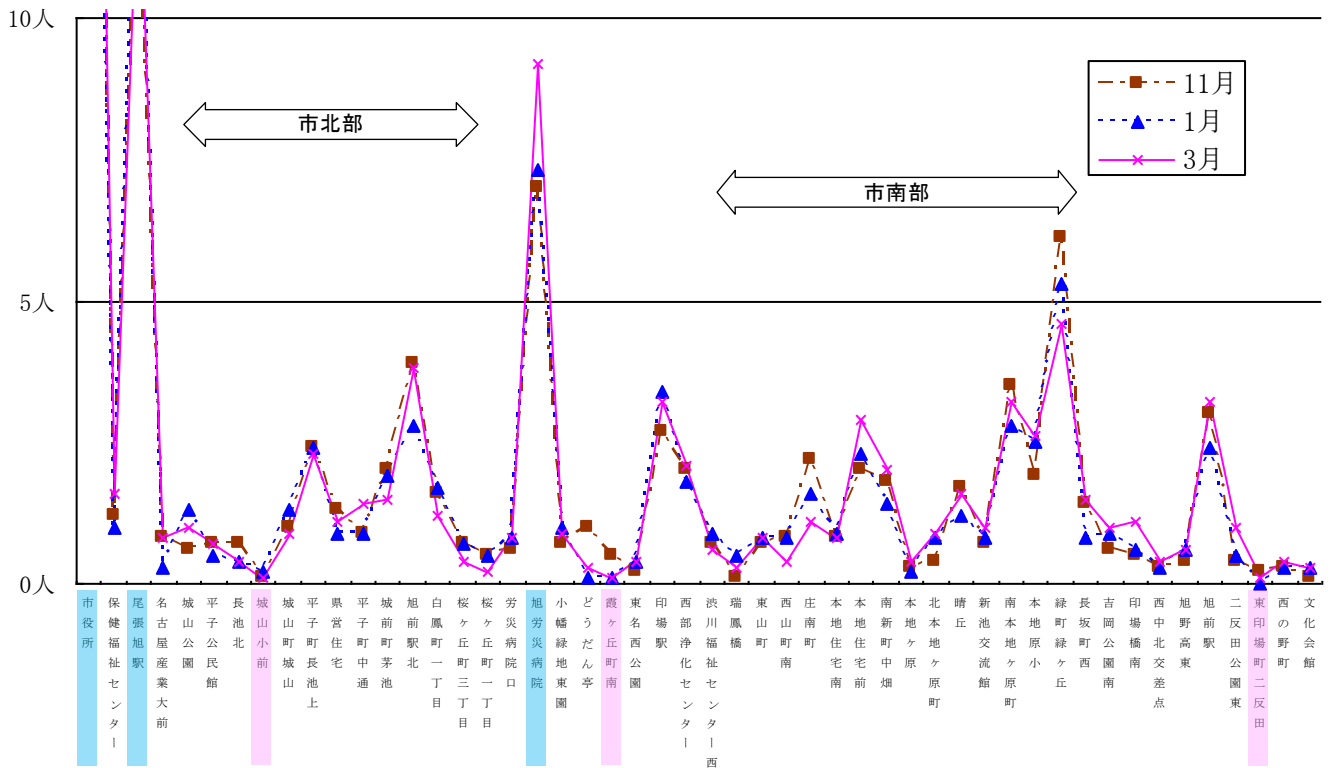
なお、月別の利用状況には、それほど大きな差異は認められません。



イ 西ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所は、「市役所」「尾張旭駅」「旭労災病院」となっており、乗車と比較し、市南部での利用数が比較的高い傾向にあります。

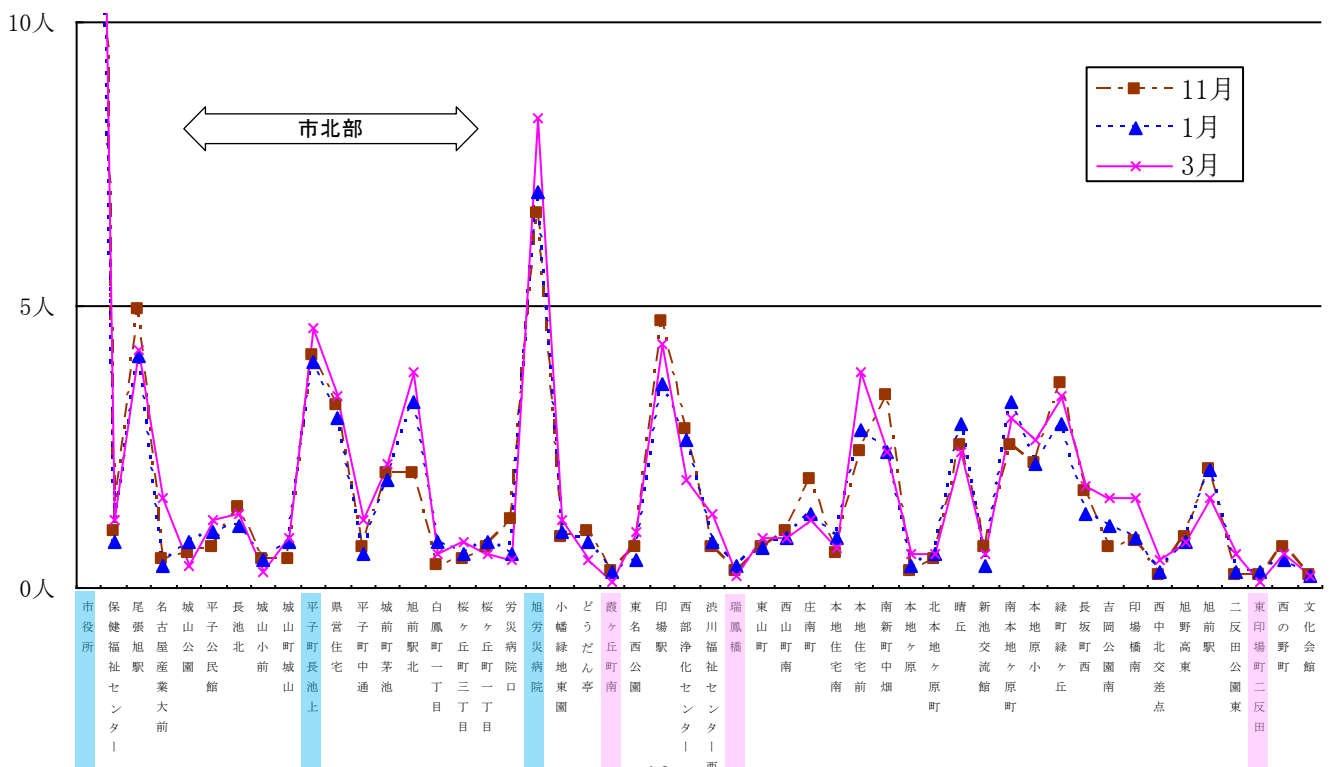
一方、降車の少ない停留所は、「城山小前」「霞ヶ丘町南」「東印場町二反田」となっており、乗車と比較し、市北部での利用数が少ない傾向にあります。



ウ 西ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「市役所」「旭労災病院」「平子町長池上」となっており、「右回り」と比較し、市北部の住宅地での利用数が少ない状況にあります。

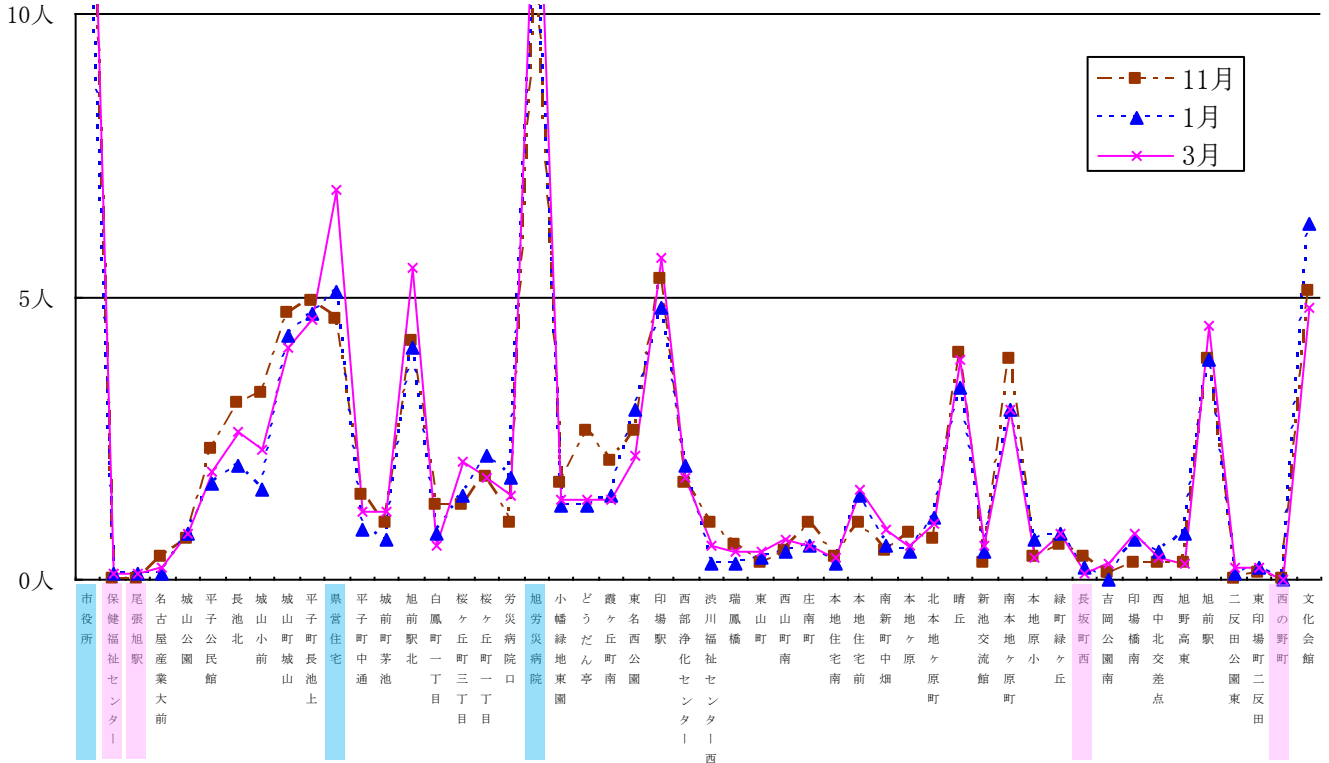
一方、乗車の少ない停留所は、「霞ヶ丘町南」「東印場町二反田」「瑞鳳橋」となっています。全般的に「右回り」の「降車」と類似した傾向が見られます。



エ 西ルート（左回り）【降車】

降車の多い停留所は、「市役所」「旭労災病院」「県営住宅」となっており、「右回り」の「乗車」と類似した傾向が見られます。

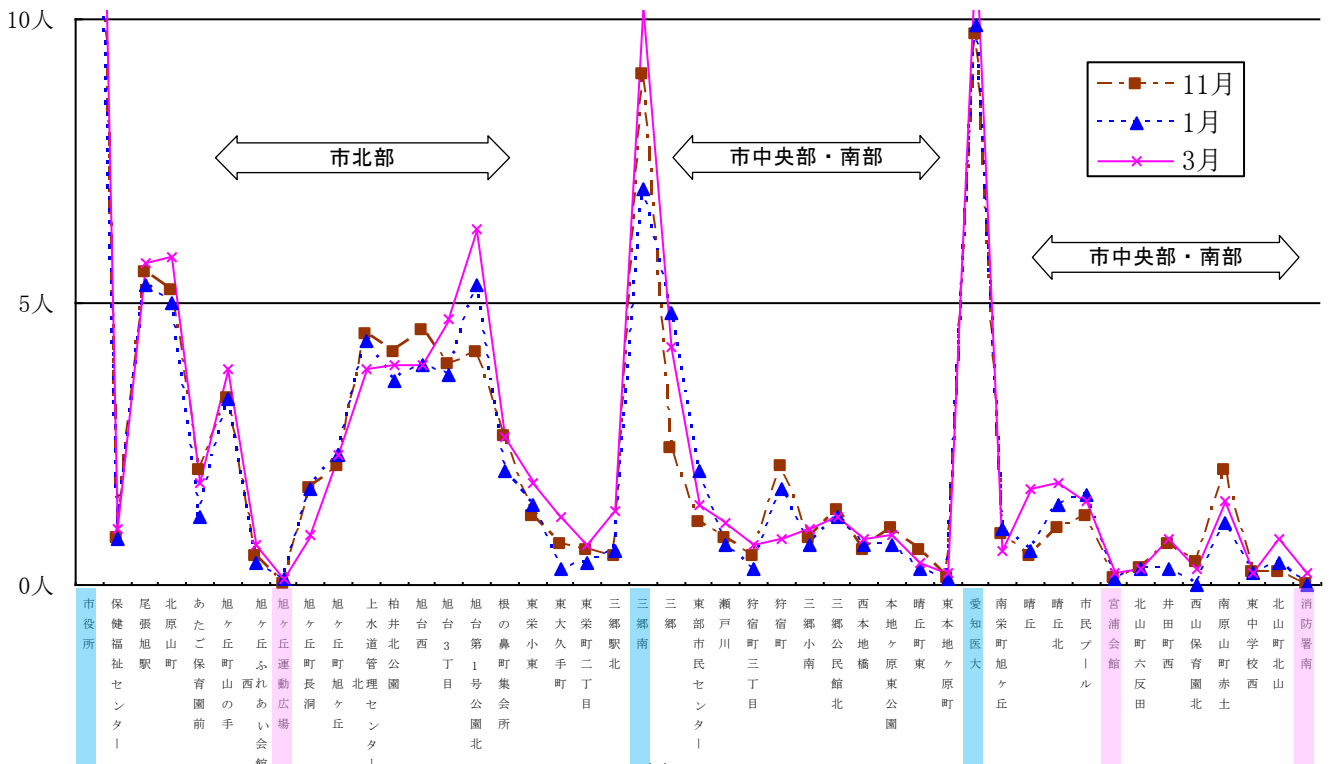
一方、降車の少ない停留所は、「西の野町」「長坂町西」「保健福祉センター」「尾張旭駅」となっており、「右回り」で「尾張旭駅」の利用数が多かったことと対照的な結果となっています。



オ 東ルート（右回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「市役所」「愛知医大」「三郷南」となっており、市北部の住宅地での利用数が比較的高い傾向にあります。

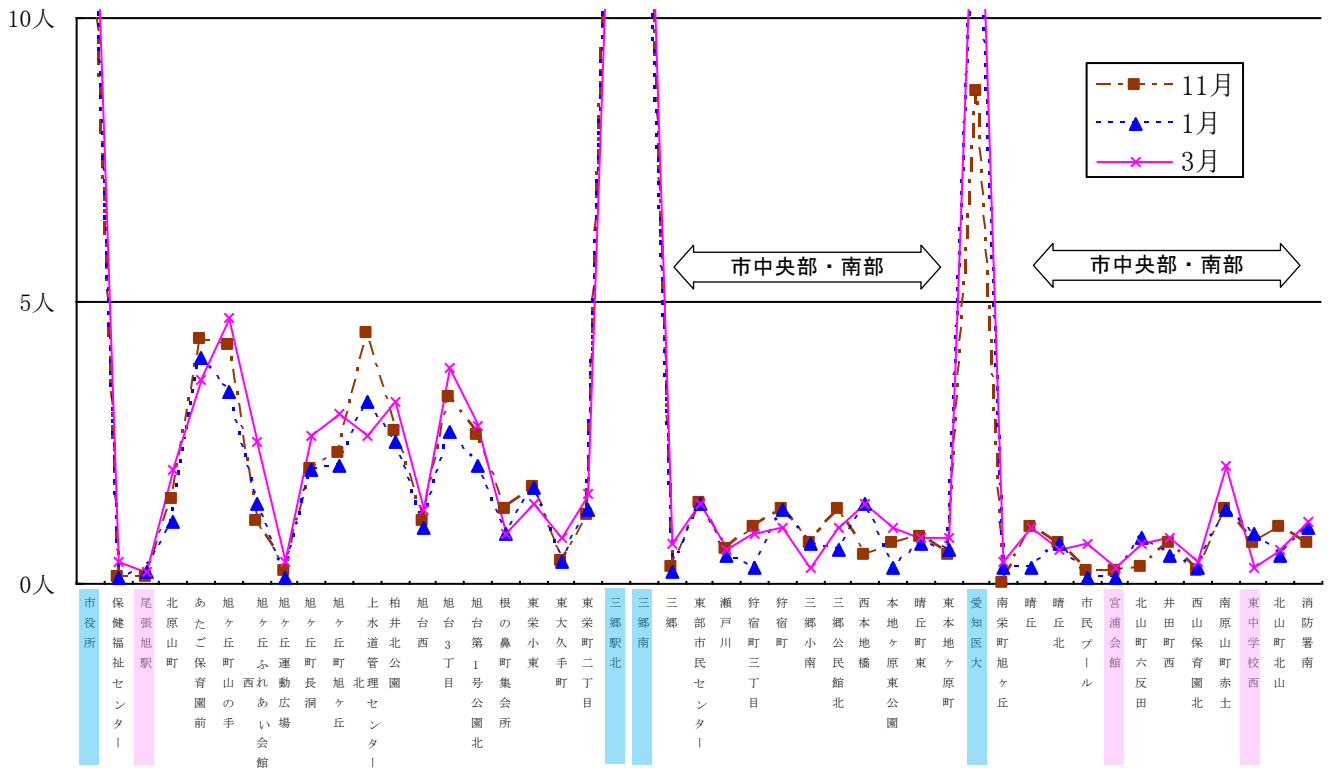
一方、乗車の少ない停留所は、「旭ヶ丘運動広場」「宮浦会館」「消防署南」となっており、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



イ 東ルート（右回り）【降車】

降車の多い停留所は、「三郷南」「三郷駅北」「市役所」「愛知医大」となっており、特に大型商業施設のある「三郷南」は突出して多い状況にあります。

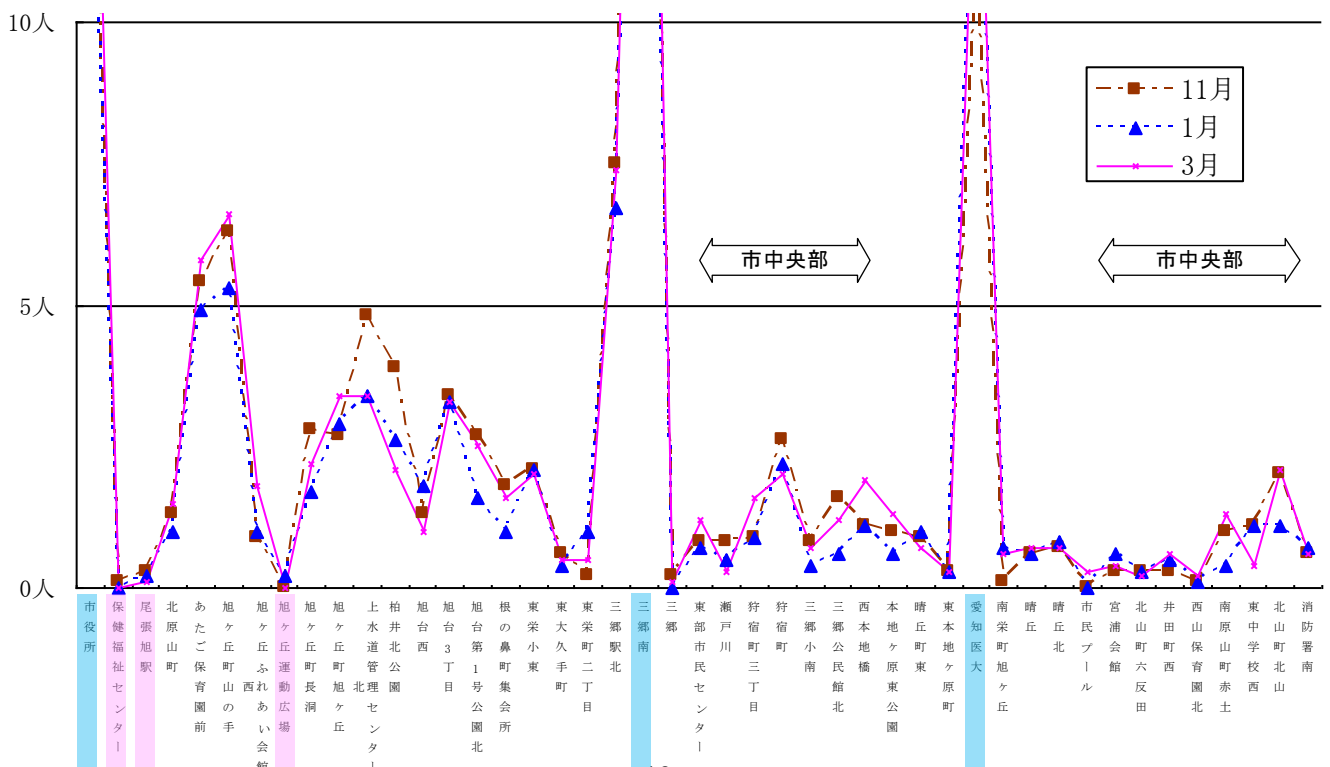
一方、降車の少ない停留所は、「尾張旭駅」「宮浦会館」「東中学校西」となっており、乗車と同様、市南部や中央部での利用数が少ない傾向にあります。



ウ 東ルート（左回り）【乗車】

乗車の多い停留所は、「三郷南」「市役所」「愛知医大」となっており、「右回り」の降車と同様、「三郷南」は突出して利用数が多い傾向にあります。

一方、乗車の少ない停留所は、「旭ヶ丘運動広場」「保健福祉センター」「尾張旭駅」となっており、こちらも市中央部での利用数が少ない傾向にあります。



(5) ルート別の停留所利用の状況

平成20年10月から平成21年3月までの間の、各ルートにおける停留所の利用状況（1日あたり平均利用者数）の結果は次のとおりとなりました。

○ 西ルート（右回り）

番号	停留所名	乗車
1	市役所	18.8
19	旭労災病院	9.1
11	県営住宅	7.3
10	平子町長池上	6.6
9	城山町城山	6.1
24	印場駅	5.1
50	文化会館	4.0
23	東名西公園	3.5
7	長池北	3.5
8	城山小前	2.7
46	旭前駅	2.7
21	どうだん亭	2.4
17	桜ヶ丘町一丁目	2.0
6	平子公民館	1.8
16	桜ヶ丘町三丁目	1.7
12	平子町中通	1.7
20	小幡緑地東園	1.7
13	城前町茅池	1.6
14	旭前駅北	1.6
32	本地住宅前	1.6
18	労災病院口	1.4
15	白鳳町一丁目	1.4
40	緑町緑ヶ丘	1.4
22	霞ヶ丘町南	1.4
41	長坂町西	1.4
38	南本地ヶ原町	1.2
36	晴丘	1.2
25	西部浄化センター	1.1
5	城山公園	1.1
30	庄南町	1.0
28	東山町	0.9
45	旭野高東	0.9
27	瑞鳳橋	0.8
33	南新町中畑	0.7
43	印場橋南	0.7
35	北本地ヶ原町	0.6
39	本地原小	0.4
42	吉岡公園南	0.4
29	西山町南	0.4
26	渋川福祉センター西	0.4
49	西の野町	0.3
37	新池交流館	0.3
31	本地住宅南	0.3
47	二反田公園東	0.3
44	西中北交差点	0.3
34	本地ヶ原	0.2
48	東印場町二反田	0.2
3	尾張旭駅	0.1
2	保健福祉センター	0.1
4	名古屋産業大前	0.0

番号	停留所名	降車
1	市役所	25.7
3	尾張旭駅	13.1
19	旭労災病院	7.2
40	緑町緑ヶ丘	5.4
14	旭前駅北	3.5
38	南本地ヶ原町	3.3
24	印場駅	3.1
46	旭前駅	2.8
32	本地住宅前	2.4
39	本地原小	2.3
10	平子町長池上	2.2
33	南新町中畑	1.9
13	城前町茅池	1.9
25	西部浄化センター	1.7
30	庄南町	1.7
36	晴丘	1.6
11	県営住宅	1.5
15	白鳳町一丁目	1.4
2	保健福祉センター	1.3
41	長坂町西	1.2
9	城山町城山	1.0
12	平子町中通	1.0
5	城山公園	0.9
31	本地住宅南	0.9
43	印場橋南	0.9
42	吉岡公園南	0.8
20	小幡緑地東園	0.8
28	東山町	0.8
26	渋川福祉センター西	0.8
37	新池交流館	0.8
29	西山町南	0.7
35	北本地ヶ原町	0.7
18	労災病院口	0.7
16	桜ヶ丘町三丁目	0.6
47	二反田公園東	0.6
4	名古屋産業大前	0.6
6	平子公民館	0.6
7	長池北	0.5
34	本地ヶ原	0.5
44	西中北交差点	0.5
21	どうだん亭	0.5
45	旭野高東	0.4
23	東名西公園	0.4
17	桜ヶ丘町一丁目	0.4
50	文化会館	0.4
49	西の野町	0.4
27	瑞鳳橋	0.4
48	東印場町二反田	0.2
22	霞ヶ丘町南	0.2
8	城山小前	0.1

○ 西ルート（左回り）

番号	停留所名	乗車
1	市役所	30.0
19	旭労災病院	7.0
3	尾張旭駅	4.3
10	平子町長池上	4.2
24	印場駅	4.2
11	県営住宅	3.8
40	緑町緑ヶ丘	3.4
14	旭前駅北	3.1
32	本地住宅前	3.0
33	南新町中畑	3.0
38	南本地ヶ原町	2.6
36	晴丘	2.5
39	本地原小	2.2
25	西部浄化センター	2.2
46	旭前駅	2.0
13	城前町茅池	2.0
41	長坂町西	1.6
30	庄南町	1.5
43	印場橋南	1.2
7	長池北	1.2
42	吉岡公園南	1.1
6	平子公民館	1.1
20	小幡緑地東園	1.1
2	保健福祉センター	1.0
29	西山町南	1.0
26	渋川福祉センター西	0.9
23	東名西公園	0.9
45	旭野高東	0.9
21	どうだん亭	0.8
31	本地住宅南	0.8
12	平子町中通	0.8
28	東山町	0.8
18	労災病院口	0.8
9	城山町城山	0.7
17	桜ヶ丘町一丁目	0.7
4	名古屋産業大前	0.7
37	新池交流館	0.7
49	西の野町	0.6
5	城山公園	0.6
34	本地ヶ原	0.6
16	桜ヶ丘町三丁目	0.6
35	北本地ヶ原町	0.5
8	城山小前	0.4
44	西中北交差点	0.4
15	白鳳町一丁目	0.4
27	瑞鳳橋	0.4
47	二反田公園東	0.3
22	霞ヶ丘町南	0.2
48	東印場町二反田	0.2
50	文化会館	0.2

番号	停留所名	降車
1	市役所	15.2
19	旭労災病院	11.1
11	県営住宅	5.6
50	文化会館	5.4
24	印場駅	5.4
14	旭前駅北	4.9
10	平子町長池上	4.8
9	城山町城山	4.2
46	旭前駅	3.8
36	晴丘	3.8
38	南本地ヶ原町	3.3
23	東名西公園	2.6
7	長池北	2.5
8	城山小前	2.3
6	平子公民館	2.2
17	桜ヶ丘町一丁目	2.0
25	西部浄化センター	1.9
22	霞ヶ丘町南	1.6
16	桜ヶ丘町三丁目	1.6
21	どうだん亭	1.5
18	労災病院口	1.4
20	小幡緑地東園	1.3
32	本地住宅前	1.3
12	平子町中通	1.2
13	城前町茅池	1.1
15	白鳳町一丁目	1.0
5	城山公園	0.9
35	北本地ヶ原町	0.8
40	緑町緑ヶ丘	0.7
30	庄南町	0.6
29	西山町南	0.6
34	本地ヶ原	0.6
26	渋川福祉センター西	0.6
33	南新町中畑	0.5
37	新池交流館	0.5
43	印場橋南	0.5
45	旭野高東	0.5
27	瑞鳳橋	0.4
31	本地住宅南	0.4
39	本地原小	0.4
28	東山町	0.4
44	西中北交差点	0.4
47	二反田公園東	0.3
41	長坂町西	0.2
48	東印場町二反田	0.2
4	名古屋産業大前	0.2
42	吉岡公園南	0.2
2	保健福祉センター	0.1
3	尾張旭駅	0.1
49	西の野町	0.1

○ 東ルート（右回り）

番号	停留所名	乗車
1	市役所	22.8
33	愛知医大	9.4
21	三郷南	9.0
15	旭台第1号公園北	5.7
3	尾張旭駅	5.6
4	北原山町	5.5
14	旭台3丁目	4.3
11	上水道管理センター北	4.2
12	柏井北公園	4.2
13	旭台西	4.1
22	三郷	3.9
6	旭ヶ丘町山の手	3.3
10	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.3
16	根の鼻町集会所	2.2
5	あたご保育園前	1.7
37	市民プール	1.7
42	南原山町赤土	1.7
23	東部市民センター	1.5
26	狩宿町	1.4
17	東栄小東	1.4
9	旭ヶ丘町長洞	1.3
28	三郷公民館北	1.3
36	晴丘北	1.2
24	瀬戸川	1.0
2	保健福祉センター	1.0
30	本地ヶ原東公園	0.9
35	晴丘	0.9
20	三郷駅北	0.9
18	東大久手町	0.8
34	南栄町旭ヶ丘	0.8
27	三郷小南	0.7
29	西本地橋	0.6
19	東栄町二丁目	0.6
7	旭ヶ丘ふれあい会館西	0.5
40	井田町西	0.5
25	狩宿町三丁目	0.5
31	晴丘町東	0.4
44	北山町北山	0.4
39	北山町六反田	0.3
43	東中学校西	0.3
41	西山保育園北	0.2
38	宮浦会館	0.2
32	東本地ヶ原町	0.1
45	消防署南	0.1
8	旭ヶ丘運動広場	0.1

番号	停留所名	降車
20	三郷駅北	16.5
21	三郷南	15.5
1	市役所	13.5
33	愛知医大	12.2
6	旭ヶ丘町山の手	4.1
5	あたご保育園前	3.8
11	上水道管理センター北	3.8
14	旭台3丁目	3.0
15	旭台第1号公園北	2.9
12	柏井北公園	2.6
10	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.6
9	旭ヶ丘町長洞	2.3
17	東栄小東	1.8
42	南原山町赤土	1.6
7	旭ヶ丘ふれあい会館西	1.6
23	東部市民センター	1.4
19	東栄町二丁目	1.4
4	北原山町	1.3
26	狩宿町	1.3
13	旭台西	1.2
16	根の鼻町集会所	1.2
29	西本地橋	1.1
45	消防署南	0.9
30	本地ヶ原東公園	0.8
25	狩宿町三丁目	0.8
31	晴丘町東	0.8
28	三郷公民館北	0.7
44	北山町北山	0.7
36	晴丘北	0.7
24	瀬戸川	0.7
27	三郷小南	0.7
35	晴丘	0.6
43	東中学校西	0.6
32	東本地ヶ原町	0.6
39	北山町六反田	0.6
40	井田町西	0.6
18	東大久手町	0.5
22	三郷	0.4
41	西山保育園北	0.3
34	南栄町旭ヶ丘	0.3
37	市民プール	0.3
3	尾張旭駅	0.2
38	宮浦会館	0.2
2	保健福祉センター	0.1
8	旭ヶ丘運動広場	0.1

○ 東ルート（左回り）

番号	停留所名	乗車
21	三郷南	24.7
1	市役所	15.4
33	愛知医大	13.4
20	三郷駅北	7.3
6	旭ヶ丘町山の手	6.5
5	あたご保育園前	5.4
11	上水道管理センター北	4.2
10	旭ヶ丘町旭ヶ丘	3.2
14	旭台3丁目	3.1
12	柏井北公園	3.0
9	旭ヶ丘町長洞	2.5
15	旭台第1号公園北	2.4
26	狩宿町	2.3
17	東栄小東	2.1
44	北山町北山	1.7
16	根の鼻町集会所	1.6
13	旭台西	1.4
29	西本地橋	1.3
7	旭ヶ丘ふれあい会館西	1.2
4	北原山町	1.2
25	狩宿町三丁目	1.2
28	三郷公民館北	1.1
30	本地ヶ原東公園	1.0
31	晴丘町東	0.9
43	東中学校西	0.9
42	南原山町赤土	0.8
23	東部市民センター	0.8
35	晴丘	0.7
45	消防署南	0.7
36	晴丘北	0.7
24	瀬戸川	0.6
27	三郷小南	0.6
19	東栄町二丁目	0.5
34	南栄町旭ヶ丘	0.5
32	東本地ヶ原町	0.5
18	東大久手町	0.4
40	井田町西	0.4
38	宮浦会館	0.3
39	北山町六反田	0.3
3	尾張旭駅	0.2
41	西山保育園北	0.2
22	三郷	0.2
37	市民プール	0.1
8	旭ヶ丘運動広場	0.1
2	保健福祉センター	0.1

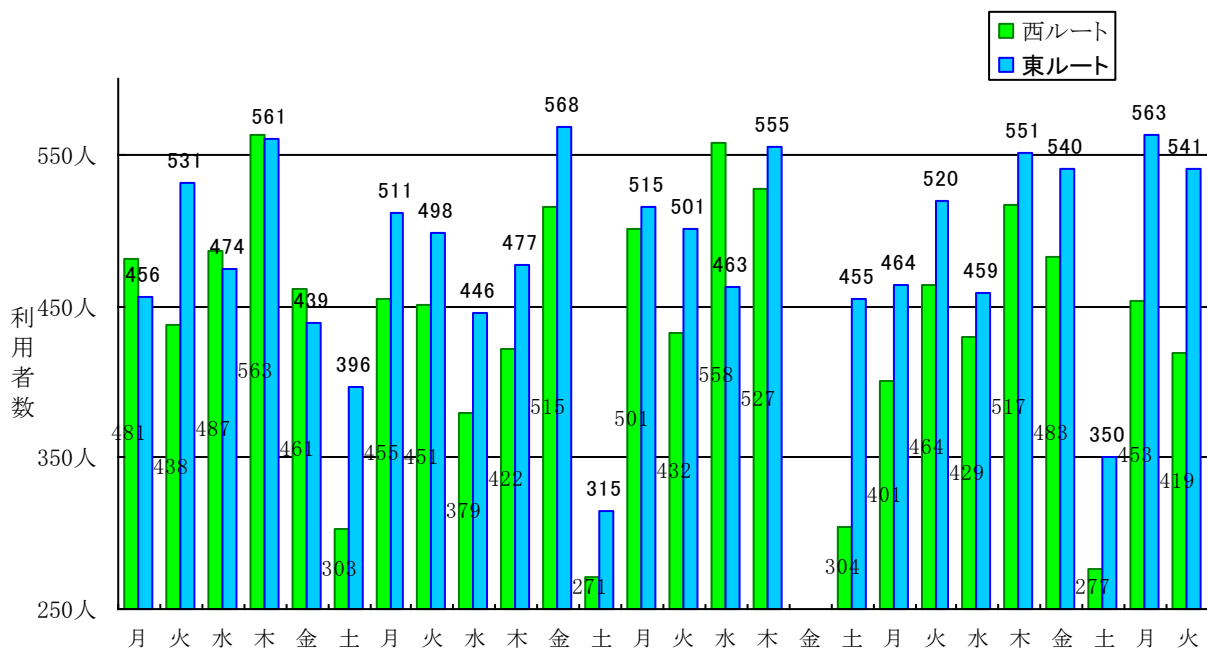
番号	停留所名	降車
1	市役所	19.4
3	尾張旭駅	11.9
33	愛知医大	10.3
21	三郷南	6.7
15	旭台第1号公園北	6.6
22	三郷	6.3
12	柏井北公園	4.6
14	旭台3丁目	3.9
42	南原山町赤土	3.8
11	上水道管理センター北	3.6
4	北原山町	3.6
13	旭台西	3.3
6	旭ヶ丘町山の手	3.1
10	旭ヶ丘町旭ヶ丘	2.4
23	東部市民センター	2.4
26	狩宿町	1.8
2	保健福祉センター	1.8
16	根の鼻町集会所	1.7
28	三郷公民館北	1.6
37	市民プール	1.5
29	西本地橋	1.2
5	あたご保育園前	1.2
17	東栄小東	1.1
19	東栄町二丁目	1.0
36	晴丘北	0.9
20	三郷駅北	0.8
7	旭ヶ丘ふれあい会館西	0.7
9	旭ヶ丘町長洞	0.7
18	東大久手町	0.7
34	南栄町旭ヶ丘	0.7
35	晴丘	0.7
27	三郷小南	0.7
31	晴丘町東	0.6
30	本地ヶ原東公園	0.6
24	瀬戸川	0.5
40	井田町西	0.4
44	北山町北山	0.4
41	西山保育園北	0.4
25	狩宿町三丁目	0.2
32	東本地ヶ原町	0.2
43	東中学校西	0.1
38	宮浦会館	0.1
8	旭ヶ丘運動広場	0.1
39	北山町六反田	0.1
45	消防署南	0.0

(6) 曜日別利用者数の状況

平成21年3月の1か月間の利用者数をグラフで示しました。

土曜日の利用者数が最も少なく、一部の病院の休日と重複していることや、家族での外出機会が多いといったことが、その要因の一つと考えられます。

また、比較的水曜日の利用者数も少ない傾向がありますが、こちらも水曜日の午後を休診とする病院が多数あることが、その要因の一つと考えられます。



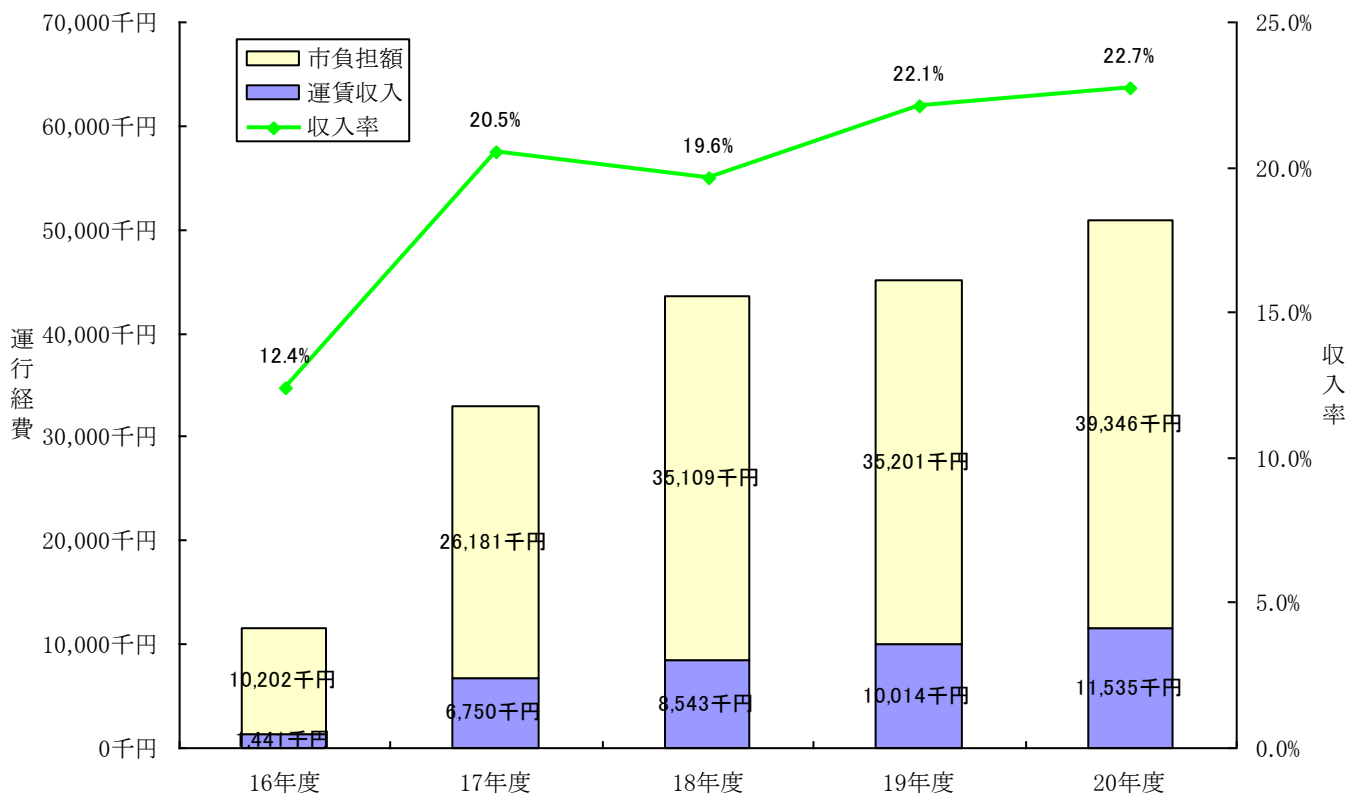
※ 西ルート、東ルートの乗車降車の合計値にて作成

※ 3月20日(金)は祝日であるため運休

4 市営バスの運行経費の状況

(1) 市営バスの運行経費の状況

試験運行の開始以降、ルートの充実やマイクロバスの導入などを進めた結果、運行経費は年々増加傾向にあります。しかし一方で、利用者数の増加に伴い、運賃収入も増加し、収入率も徐々に高まっています。



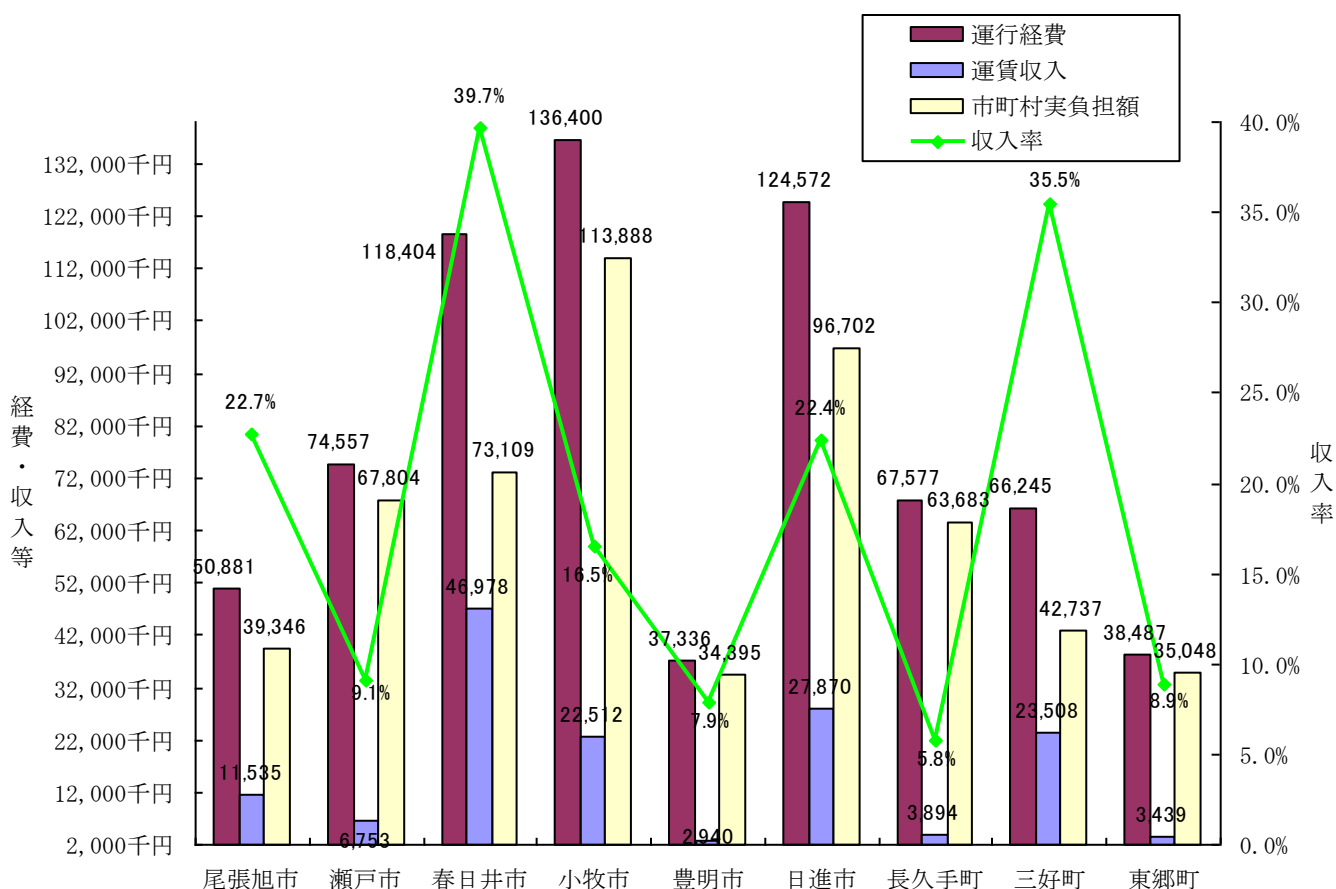
- ※ 16年度は12月からの4か月間（3ルート、ジャンボタクシーでの運行）
- ※ 18年度は8月から4ルートでの運行、マイクロバスでの無償運行等を実施
- ※ 19年度は12月から2台をマイクロバスに変えて運行
- ※ 20年度は10月から2ルート循環型に変更して運行
- ※ 20年度からは、指定管理者制度を導入。また障がい者本人の運賃を無料化

平成18年度については、東ルートにおいて、10月から11月までの2か月間、マイクロバスによる運行の実証実験を実施し、西ルートにおいても、2月から3月までの間の18日間、マイクロバスによる運行の実証実験（利用料金は無料）を実施したため、運行経費の上昇と運賃収入の減少につながり、収入率は、平成17年度と比較し低下しています。

また、平成20年度については、前年度と比較して利用者数が大幅に増加したものの、障がい者本人の運賃無料化や、「双方向ループ方式」への運行方式変更に伴う乗り継ぎ者の減少により、収入率の上昇は僅かなものとなっています。

(2) 近隣市町のコミュニティバス運行経費等の状況

近隣市町のコミュニティバスにおける平成20年度の運行経費などの状況は、次のとおりです。



※ 平成20年度市町村における自主運行バス等の運行状況に関する調査（県地域振興部交通対策課実施）結果を各団体に電話確認

※ 東郷町は、市町村が自ら有償運送を行っているもの（道路運送法79条登録（旧80条許可）による運行）であり、その他の市町は、市町村が主体となって乗合事業者に運行を委託しているもの（道路運送法4条許可による運行）

※ 東郷町の市町村実負担額については、愛知県からの補助を含む

○ 近隣市町のコミュニティバスの内容

市町名	バス等の愛称	運行目的	委託事業者名
瀬戸市	瀬戸市コミュニティバス	交通空白地区の解消	名鉄西部交通(株) (株)あんしんネットあいち J R 東海バス(株)
春日井市	かすがいシティバス (はあとふるライナー)	公共施設利用及び日常生活の利便性向上、公共交通空白地での交通手段の確保、主な公共施設利用の利便性の向上	名鉄バス(株)
小牧市	こまき巡回バス	交通空白地区の解消、公共施設の利用促進	あおい交通(株)
豊明市	ひまわりバス	交通弱者の社会参加促進、公共施設への利便性の向上、交通空白地区の解消	名鉄バス(株)
日進市	くるりんばす	公共交通空白地域の解消、市民の社会参加・交流の促進	名鉄バス(株)
長久手町	Nーバス	交通弱者の社会参加促進、公共施設への利便性向上、交通空白地区の解消、通勤・通学者の交通移動確保	名鉄バス(株)
三好町	さんさんバス	交通空白地区の解消、交通弱者の社会参加支援、地域間の区流促進	愛知つばめ交通(株)
東郷町	じゅんかい君	交通空白地区の解消、町内の活性化	(株)セントラルサービス
尾張旭市	あさび一号	交通空白地区の解消	豊栄交通(株)

市町村名	路線数	使用車両台数	基本運行日	1日運行回数	基本運賃	運賃特例
瀬戸市	8本	5台	毎日 (年末年始除) 外	14回 外	100円	障害者は半額
春日井市	7本	9台	毎日	8.5回 外	200円 外	未就学児、障がい者無料。小人100円
小牧市	8本	8台	毎日 (年末年始除)	10回 外	200円均一 /日	乗継自由。小学生半額。幼児(小学生未満)無料。 ※身障手帳等の提示時の付添者1名無料。 ※ビーチバス等の定期券提示者無料。
豊明市	4本	2台	毎日 (年末年始除)	7回 外	100円	市内在住で中学生以下・65歳以上・身障手帳等を携帯している方と付き添いの方1名無料
日進市	7本	7台	毎日 (年末年始除)	11回	100円	他のコースへの当日乗り継ぎ1回のみ無料。 中学生以下の子ども、身障手帳等所持者、介護認定者及びその付き添い1名無料
長久手町	12本	4台	毎日 (年末年始除)	9回 外	100円	中学生以下、妊婦、身体障害者、町発行「あったかあど」携帯者(高齢者・障害者用)無料
三好町	2本	4台	毎日 (年中無休)	22回	100円	未就学児、介助者無料
東郷町	4本	4台	毎日 (年末年始除)	12回	100円	障害者と付き添い1人、中学生以下の子ども、65歳以上無料
尾張旭市	2本	4台	月～土 (年末年始、祝日除)	6回	100円	未就学児及び障害者無料(障害者の付添も1人まで無料)

5 市営バス運行に対する市民意識

より利用しやすい市営バスの運行を行うためには、市営バスの利用状況の調査・分析を行うとともに、市民ニーズや意見・提言等を把握して、現在の運行内容における課題・問題点を整理することが必要であると考えられます。

(1) まちづくりアンケートの結果

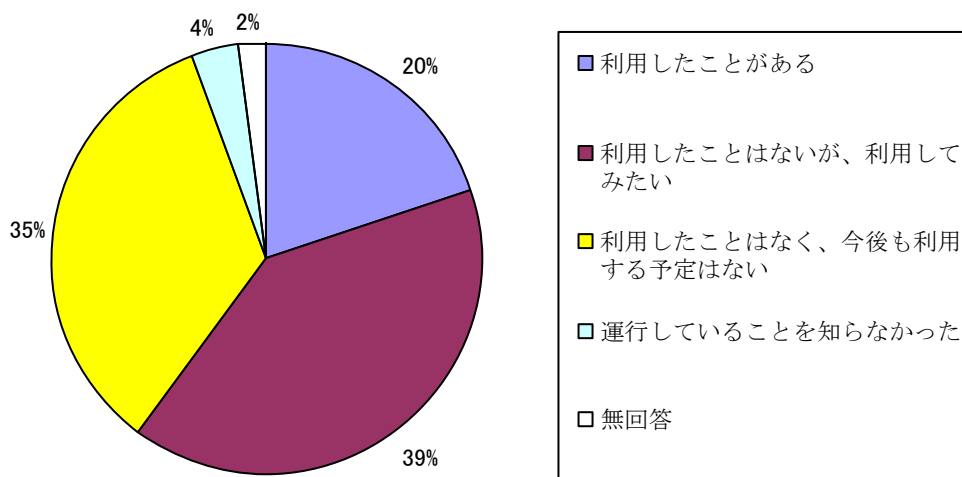
尾張旭市第四次総合計画に定める「施策」「基本事業」「事務事業」の目的達成度（成果指標の現状値）を明らかにするため、平成21年1月に「まちづくりアンケート」を実施し、この中で市営バスの利用状況や、満足度をお聞きしました。

なお、このアンケートは、満18歳以上の尾張旭市民（平成21年1月1日現在）のなかから、人口の約4%にあたる3,000人を対象として、郵送で調査を実施し、その結果、回収数は1,873票、回収率は62.4%となりました。

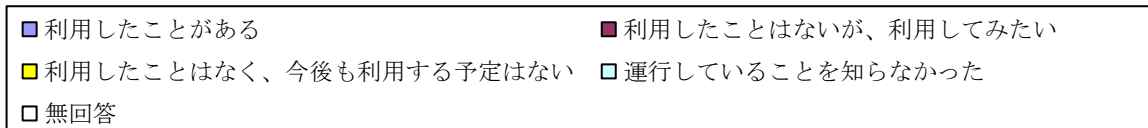
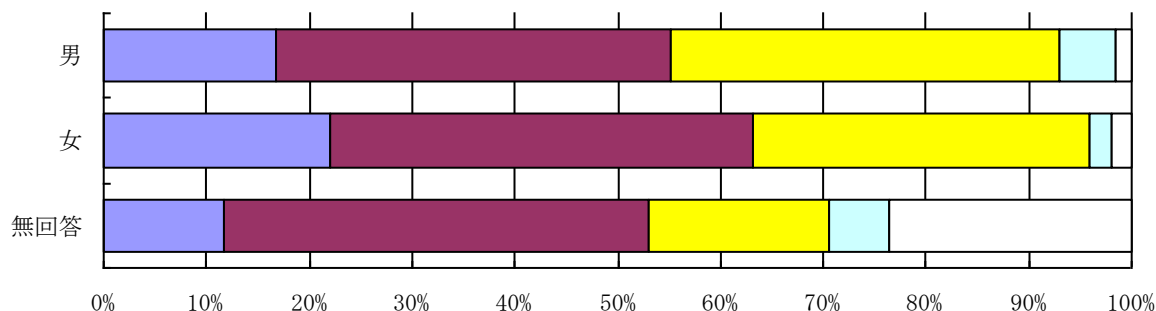
ア 市営バスの利用状況

▽ 全体

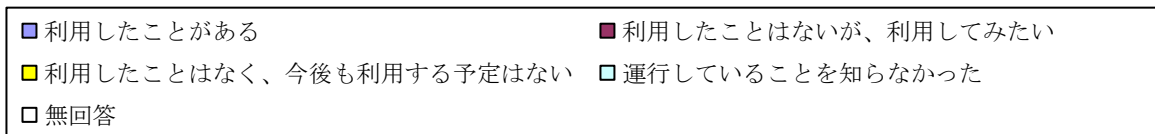
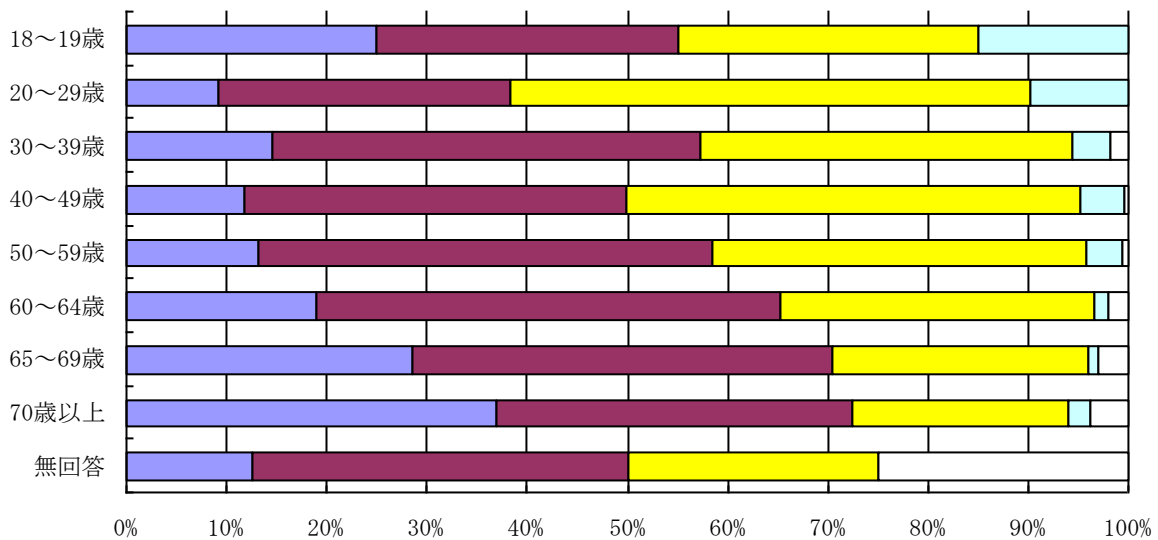
「利用したことがある」「利用してみたい」が全体の半数以上を占めていましたが、3割以上の方が「今後も利用する予定はない」としていました。また「運行していることを知らない」とする方が全体の4パーセントもありました。



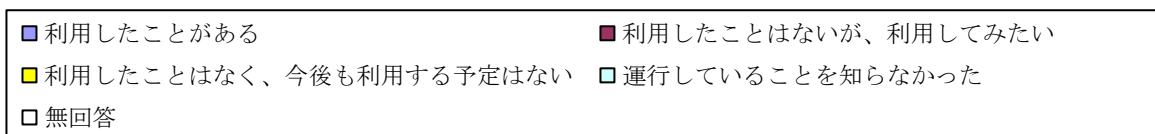
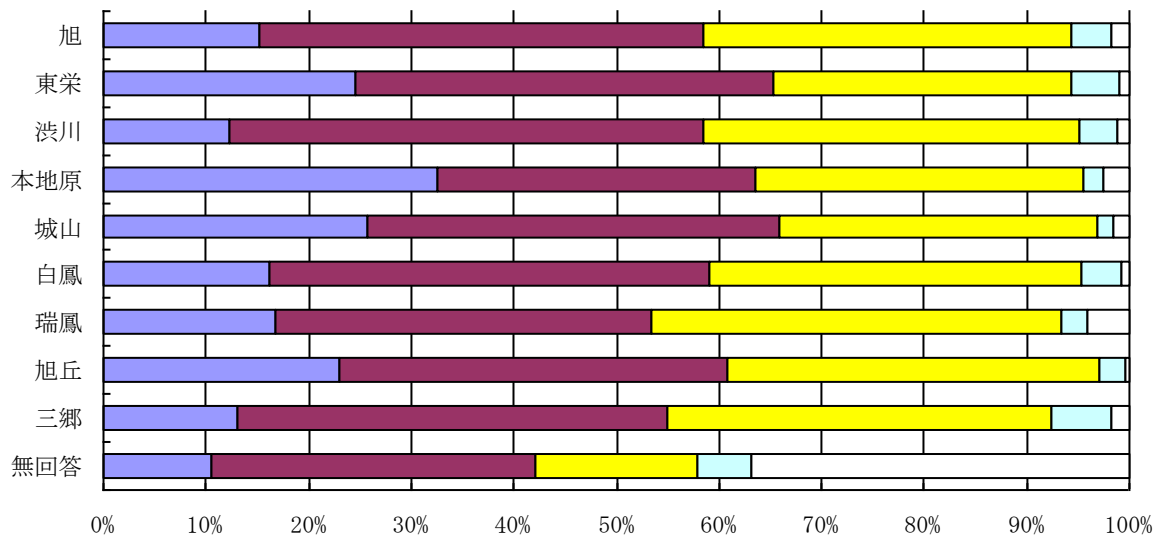
▽ 性別



▽ 年齢別



▽ 地域別



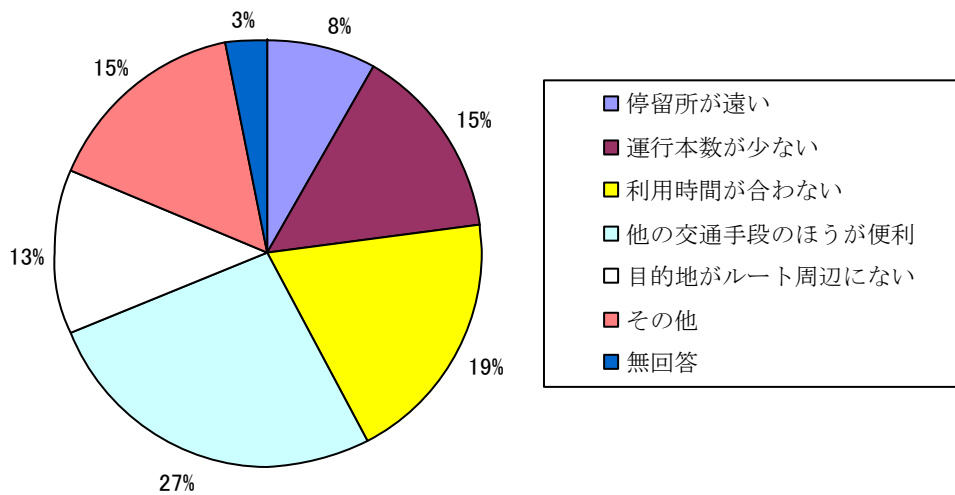
- ▽ 性別では、「利用したことがある」とする割合は、若干女性のほうが高く、「運行していることを知らない」とする割合は男性のほうが高くなっていました。
- ▽ 年齢別では、「利用したことがある」とする割合は、年齢層が高くなるにつれ高くなっていました。なお、10代の結果については、全体の標本数が少ないため、結果が高く表示されています。
- ▽ 地域別では、市南部にある「本地原地区」において「利用したことがある」とする割合が高く、「3 市営バスの利用状況」の結果とは、異なったものとなっていました。

イ 利用したことのない理由（複数回答） ※n=1,396

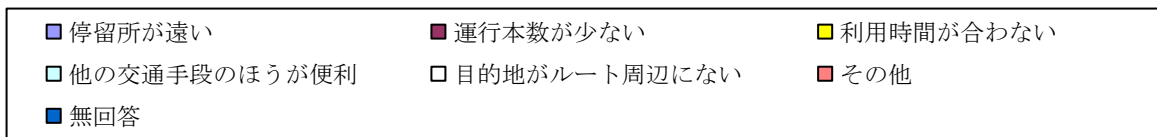
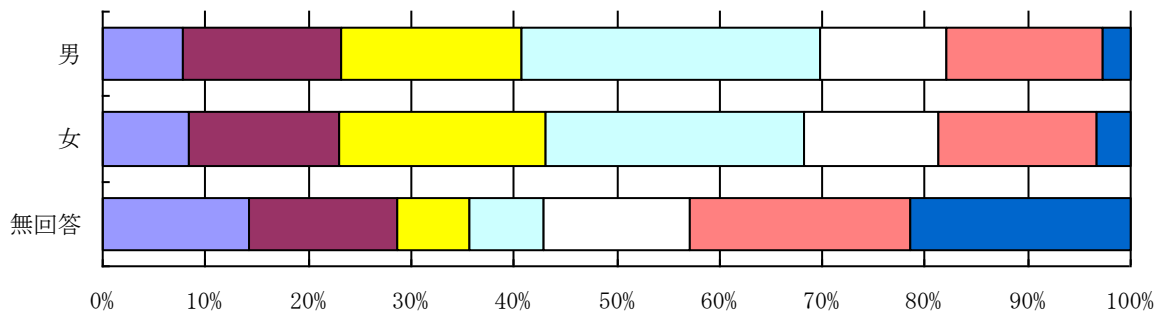
▽ 全体

「利用状況」に関する質問において「利用したことはないが、利用してみたい」「利用したことはなく、今後も利用する予定はない」と回答のあった方にその「利用したことのない理由」をお聞きしました。

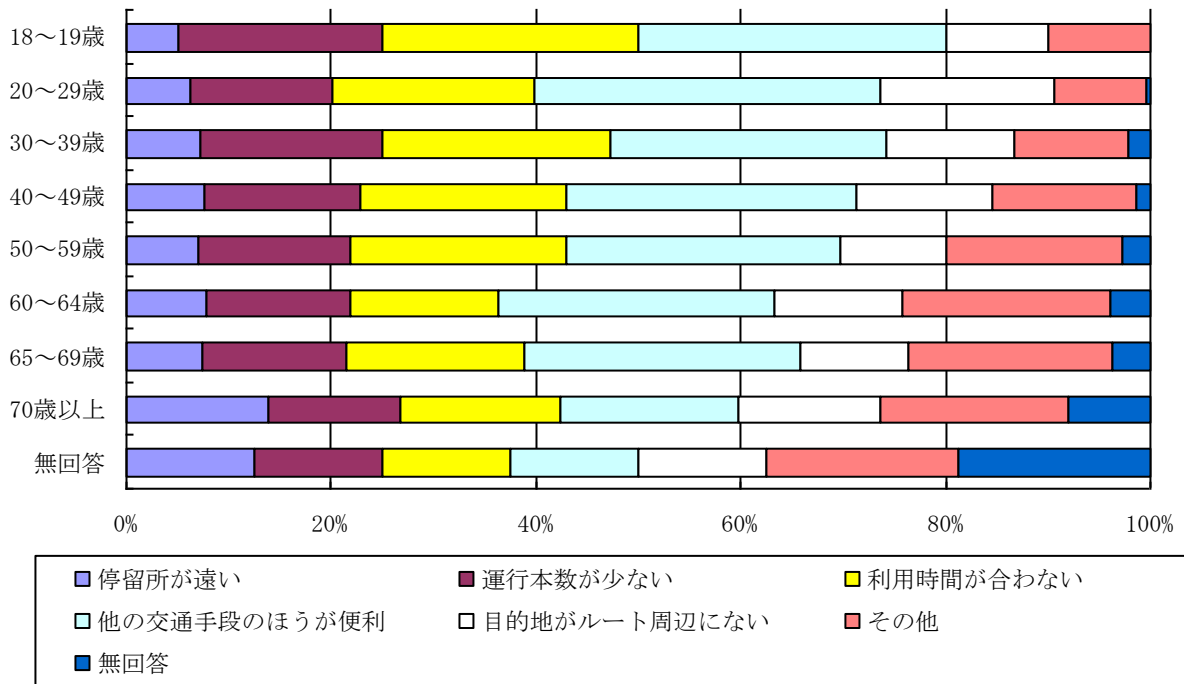
その結果、「他の交通手段のほうが便利」とする割合が最も高く、次いで「利用時間が合わない」「運行本数が少ない」とする割合が高くなっていました。



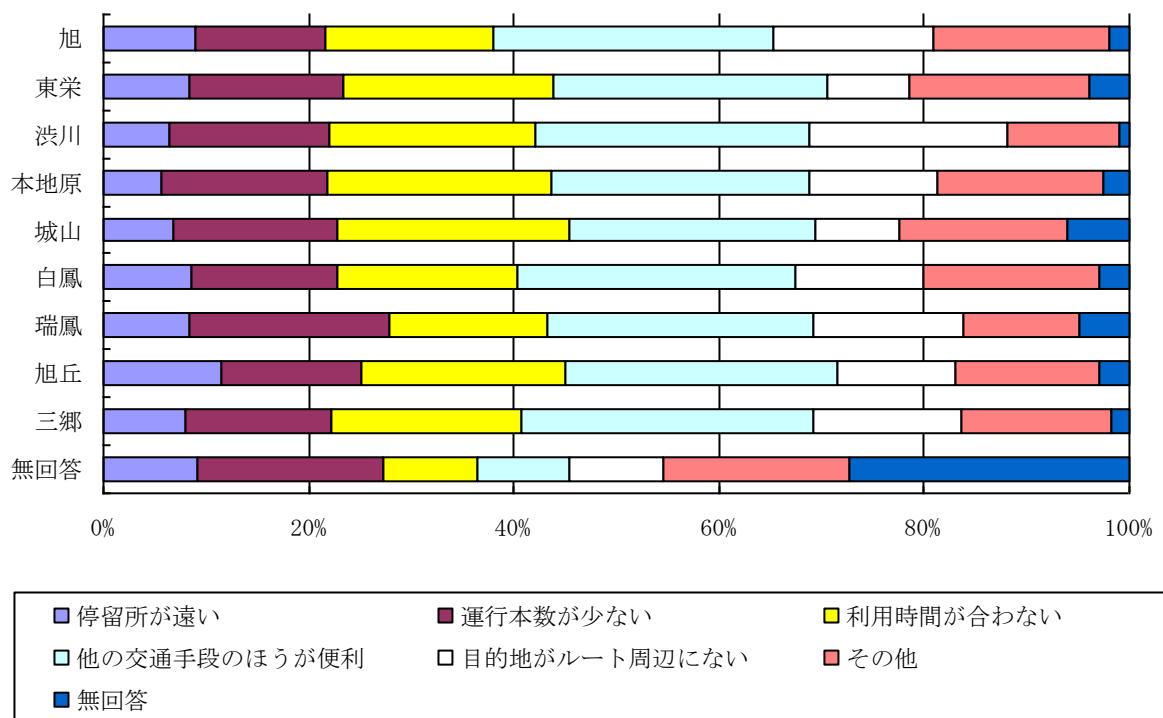
▽ 性別



▽ 年齢別



▽ 地域別



▽ 性別では、回答に大きな差異は認められませんでした。

▽ 年齢別では、年齢層が低いほど、「他の交通手段のほうが便利」とする割合が高くなっていました。

▽ 地域別では、「停留所が遠い」とする割合は「旭丘地区」で高く、「運行本数が少ない」とする割合は「瑞鳳地区」で高くなっていました。さらに「他の交通手段のほうが便利」とする割合は「三郷地区」で高くなっていました。

▽ その他、「利用したことのない理由」として、多数回答いただいたものに、次に掲げるものがありました。

理由内容	性別	年齢	地区
交通手段が自転車。	男	10代	三郷
自分の車の方が移動し易い。	男	20代	東栄
バスは、あまり好きではない。	男	20代	本地原
高齢者向けであるから。	男	30代	城山
日・祝が運行していない。	男	30代	旭丘
歩けるうちは、歩いて目的地へ。	男	60代	旭
バスの色を何とか変更して欲しい。まるで幼稚園バスだ。	男	60代	城山
税金の無駄使いだと思う。止める方向で検討してもらいたい。	男	70代	瑞鳳
藤ヶ丘駅へ行きたい。	女	30代	本地原
午後4時以降の本数を増やして欲しい。	女	50代	瑞鳳
1回100円は高い(往復200円)。もっとお得な回数券等があれば。	女	60代	城山

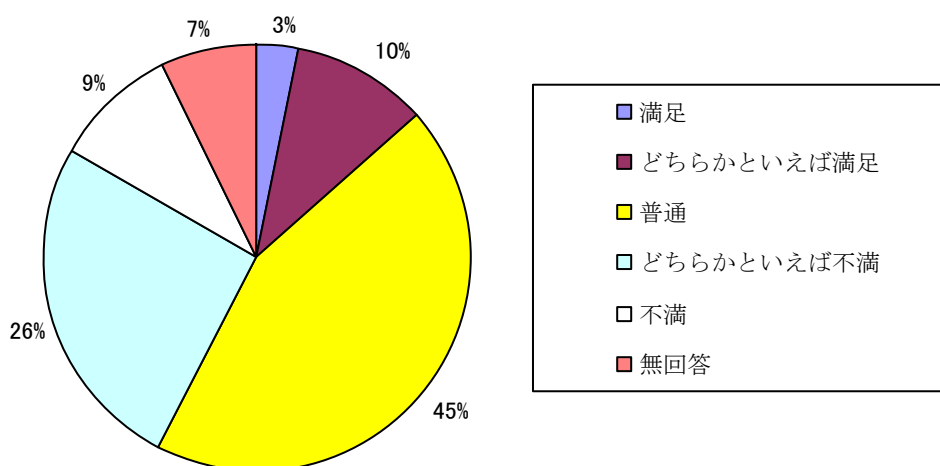
ウ 市営バスを含む公共交通手段（バス）に対する満足度

▽ 全体

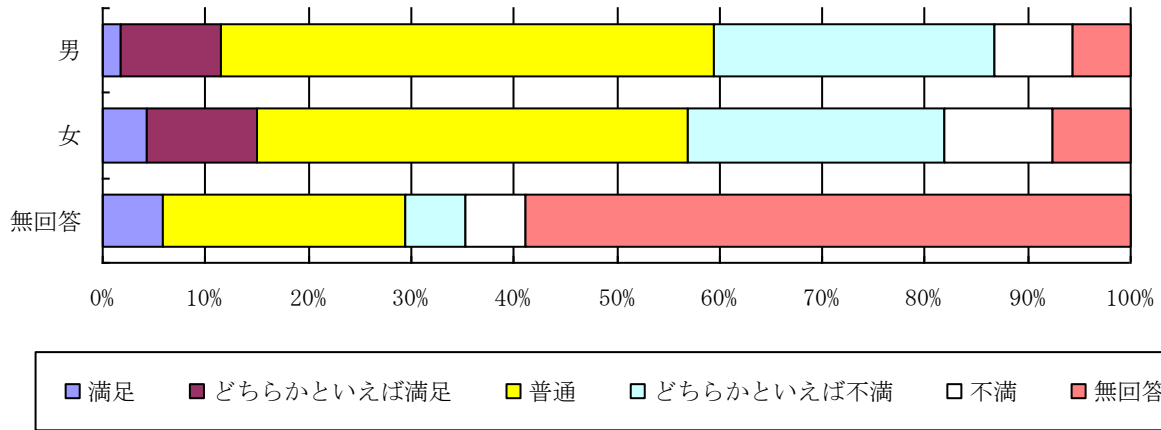
市営バスを含む公共交通手段のうち「バス」に対する満足度をお聞きしました。

その結果、「満足」「どちらかといえば満足」「普通」とする割合が全体の半数以上を示していました。

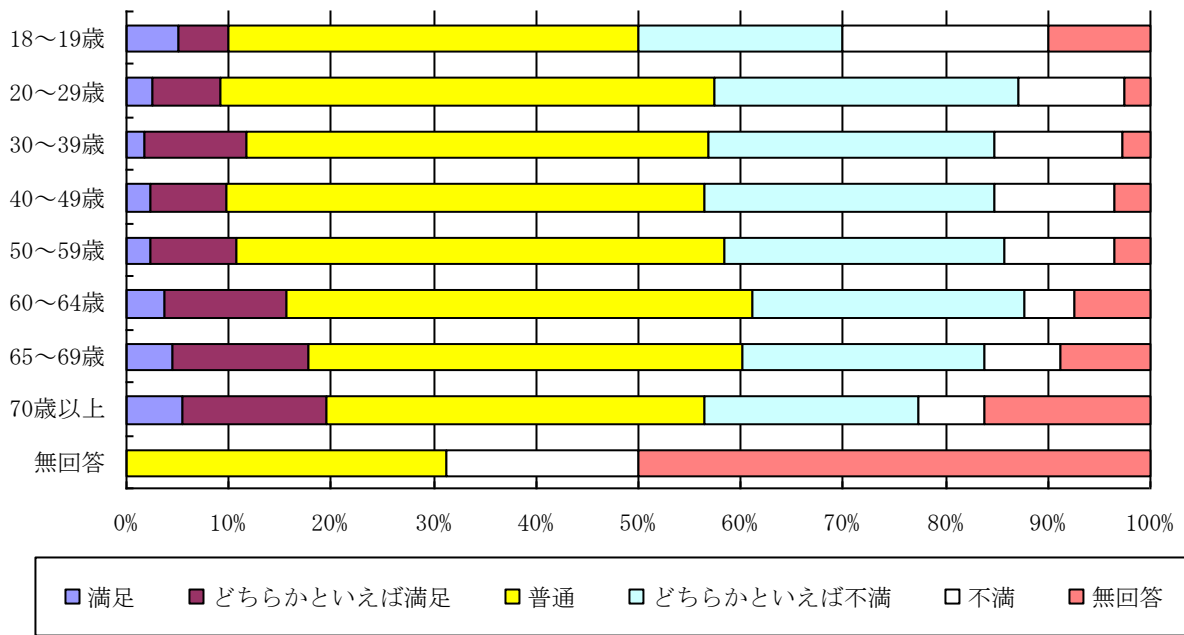
しかし、「どちらかといえば不満」「不満」とする割合が、全体の約4割に達していました。



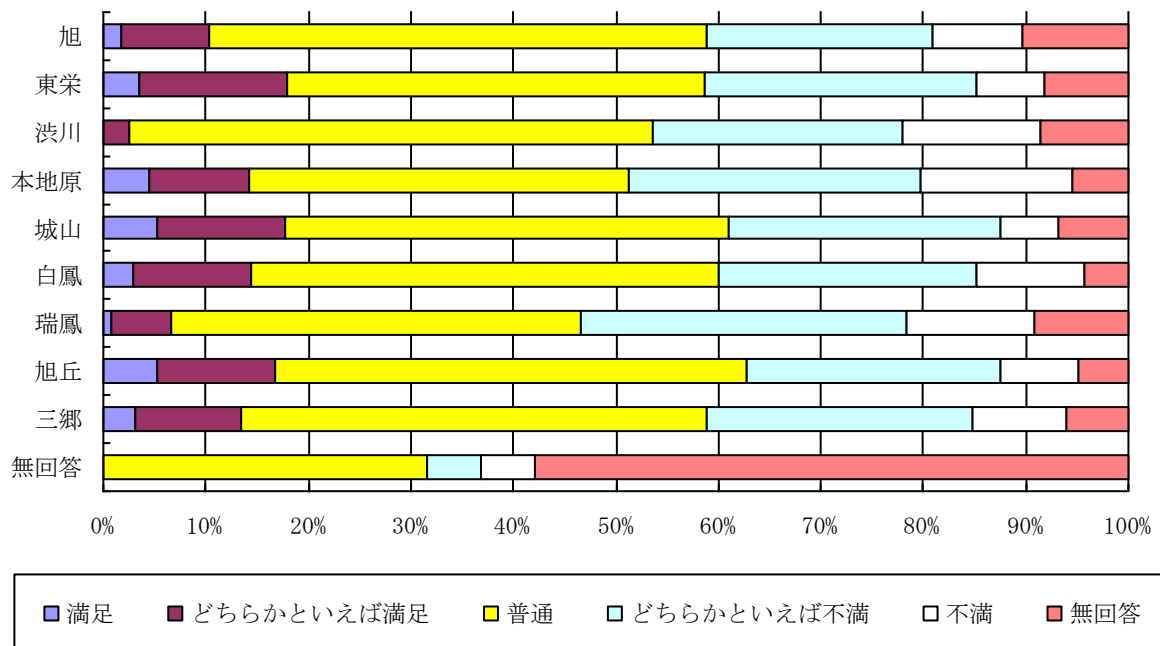
▽ 性別



▽ 年齢別



▽ 地域別



- ▽ 性別では、女性のほうが、「満足」とする割合だけでなく「不満」とする割合も高くなっていました。
- ▽ 年齢別では、「満足」「どちらかといえば満足」とする割合は、年齢層が高くなるにつれ高くなっていました。なお、10代の結果については、全体の標本数が少なかったため、結果が高く表示されています。
- ▽ 地域別では、「渋川地区」において「満足」「どちらかといえば満足」とする割合が極めて低く、次いで「瑞鳳地区」においても低い割合が示されていました。

エ その他自由意見

まちづくりアンケートの最後において、「今後の尾張旭市のまちづくりに関するご意見」としていただいた中で、市営バスに関連する意見として、次に掲げるものが多数ありました。

内 容	性別	年齢	地区
住み良い町だと思いますが、欲を申せば、あさび一号の運行を増やして欲しいと思います。	男	70代	白鳳
市営バスの本数を増やして欲しい。	女	40代	城山
「あさび一号」を、日曜日にも運行して欲しい。	女	40代	城山
市の100円バスが、住んでいる所からバス停まで母の足では12～15分掛かるので、せめて5分位のバス停になると良い。もう少し、乗る場所を考えて欲しい。	女	50代	城山
あさび一号の運行本数を増やし、「お年寄りバス」と20代の娘が話していましたので、便利がいいよう、時間も遅くまで乗れるようにしてもらえれば助かります。	女	50代	瑞鳳
朝7時・夜6～7時に、一本ずつでも有れば嬉しいです。	女	50代	三郷
あさび一号で市役所へ行こうと思ったら、大変遠回りで利用し難い。本地ヶ原住宅から市役所。	女	65代	本地原
あさび一号について、毎日のように利用している私にとっては有り難い存在ですが、市中央部にはバス停がありません。市役所まで歩いて15分掛かるのですが、以前は名鉄バスが走っていましたが、現在は廃止になって車の運転が出来ない私には大変不便を感じています。せめて瀬戸街道を東西に走らせてもらう事は無理でしょうか。お願いします。	女	70代	旭

6 市営バスに関する課題

以上の結果を踏まえ、市営バスの課題を整理すると次のとおりとなります。

(1) 現行の市営バスの利用促進

市営バスの利用者数には、市北部と市中央部・南部との間に差が認められます。このため、それぞれの地域のニーズに応じた利用促進策の構築が求められます。

(2) 市営バスの運行内容の見直し検討

ア 運行ルートの見直し

これまでのルート見直しによって、「交通空白地」として定義した、既存のバス停及び鉄道駅から500メートル圏内については、ほぼ全域網羅した形となっていますが、実際には、交差点や踏み切り、河川に架かる橋などによって、実測距離としては500メートル圏外に位置する場合も存在します。このため、これらの地域解消を念頭においたルートの見直しが必要であると考えられます。

さらに、市南部地域では、名古屋市を日常の生活圏としている場合が多く、これにより、名古屋市営地下鉄藤が丘駅への市営バス乗り入れを希望する声が多数あります。このため、同駅との連携を念頭におき、乗り入れによる連携だけでなく、乗り継ぎによる連携についても検討する必要があると考えられます。

イ 運行日

以前に比べ、年々土曜日の利用者数は増加傾向にありますが、一部の病院の休日との重複や、家族での外出機会の増加などといった理由により、平日と比べ、その利用はまだ低い状態にあります。一方で、市民からは、日曜日や祝日の運行に対する要望が数多く寄せられています。このため、まずは土曜日の利用促進策の構築を図り、その後、実際のニーズや費用対効果、そして利用料金のあり方などを踏まえたうえで、日曜日や祝日での運行を検討することが必要であると考えられます。

ウ 運行時刻

第1便と第7便は、全ルートのうち、一部の区間のみの運行としている関係上、その他の便と比べ、利用者数が少ない状況にあります。しかし、実際には、早朝や夜間での運行に対する要望や、さらなる増便に対する要望が数多く寄せられています。このため、これらの要望に対応するためのルート設定や利用料金のあり方、さらには使用する車両の種類、台数などについても、検討することが必要であると考えられます。

(3) その他

継続的な市営バスの運行の実現のためには、運賃以外の収入の確保を図ることも検討する必要があります。このため、現在実施している広告収入の拡大を進めるとともに、協賛制度などについても調査研究していく必要があると考えられます。